

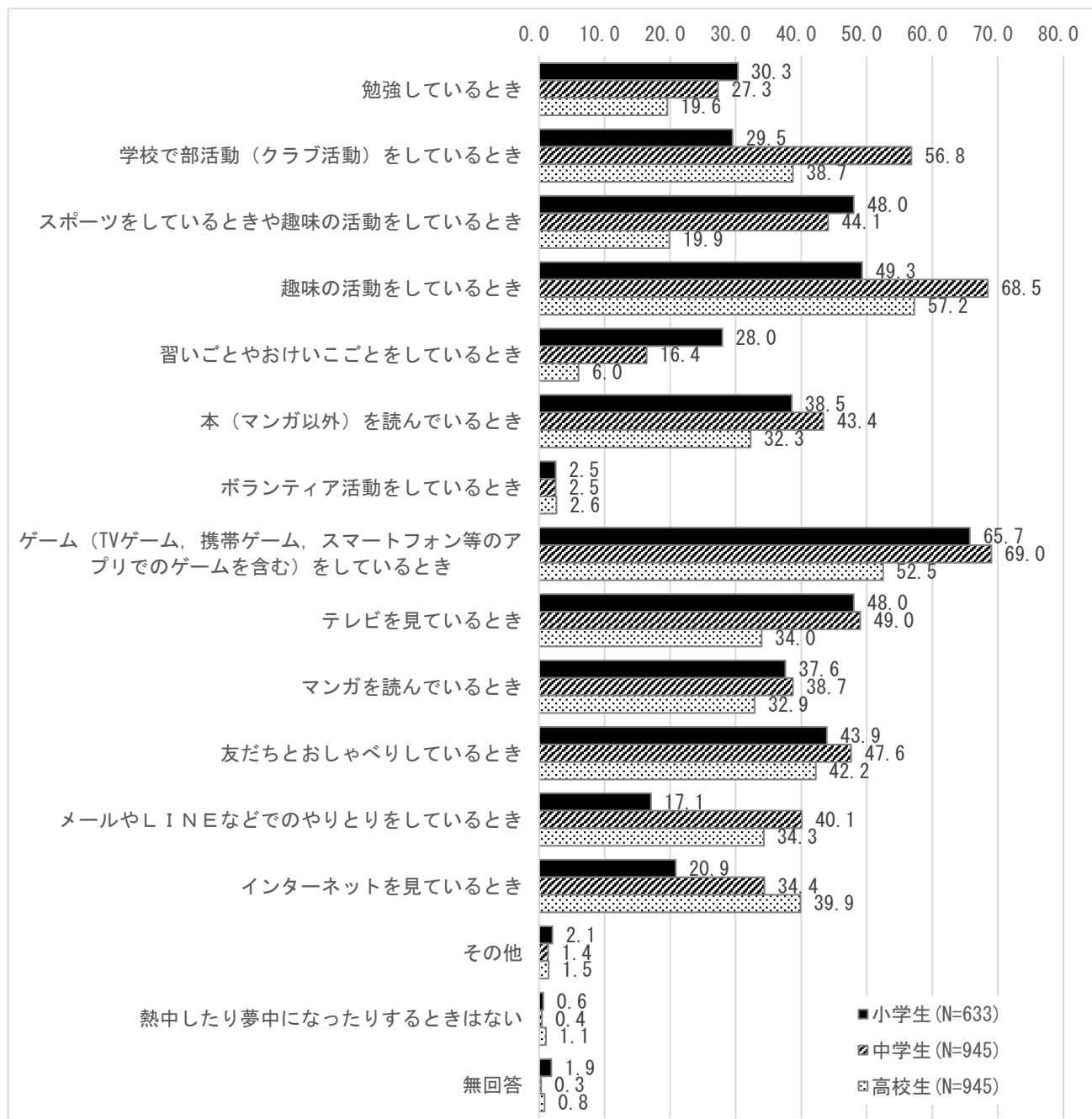
V 意識・価値観

V-1 熱中すること

[小学生 問18] [中学生 問21] [高校生 問23]

あなたが、何かに熱中したり夢中になったりするのとはどんなときですか。（複数回答）

【熱中すること】[小・中学生, 高校生]（複数回答） (%)



「ゲームをしているとき」は、小学生・中学生での割合が最も高く、高校生では2番目に高い割合となっている。高校生では「趣味の活動をしているとき」の割合が最も高い。

その他の記述では、小学生では「工作しているとき」（2人）、中学生・高校生では「動画を見ているとき」（中学・高校で2人ずつ）が挙げられた。

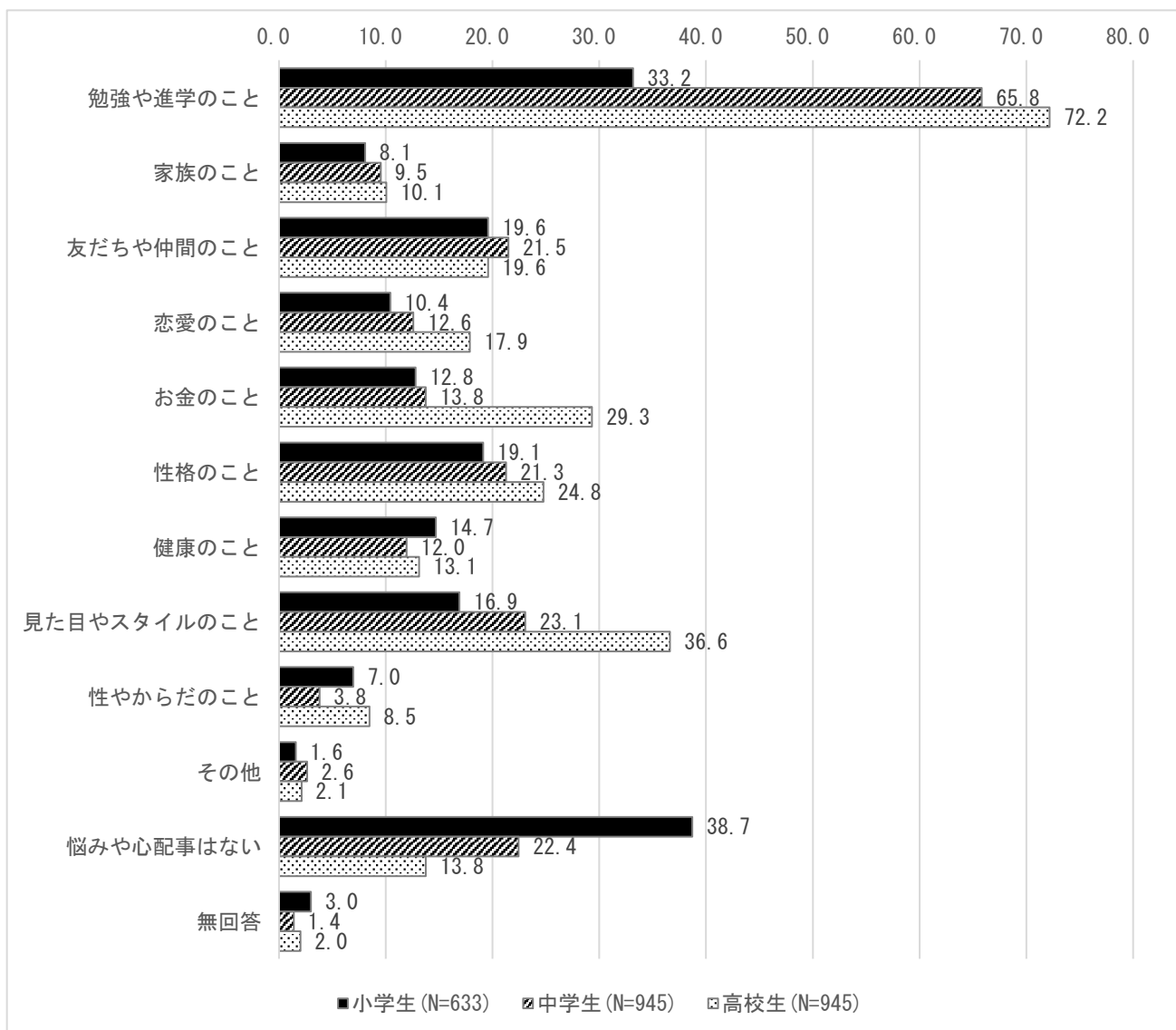
ほか、「ボランティア活動をしているとき」の割合が非常に低い。

V-2 悩みと解決法について

[小学生 問23] [中学生 問26] [高校生 問30]

あなたは今、悩みや心配事がありますか。(複数回答)

【悩みや心配事】 [小・中学生, 高校生] (複数回答) (%)



中学生・高校生では「勉強や進学のこと」の割合が他の項目と比較して突出して高くなっている。

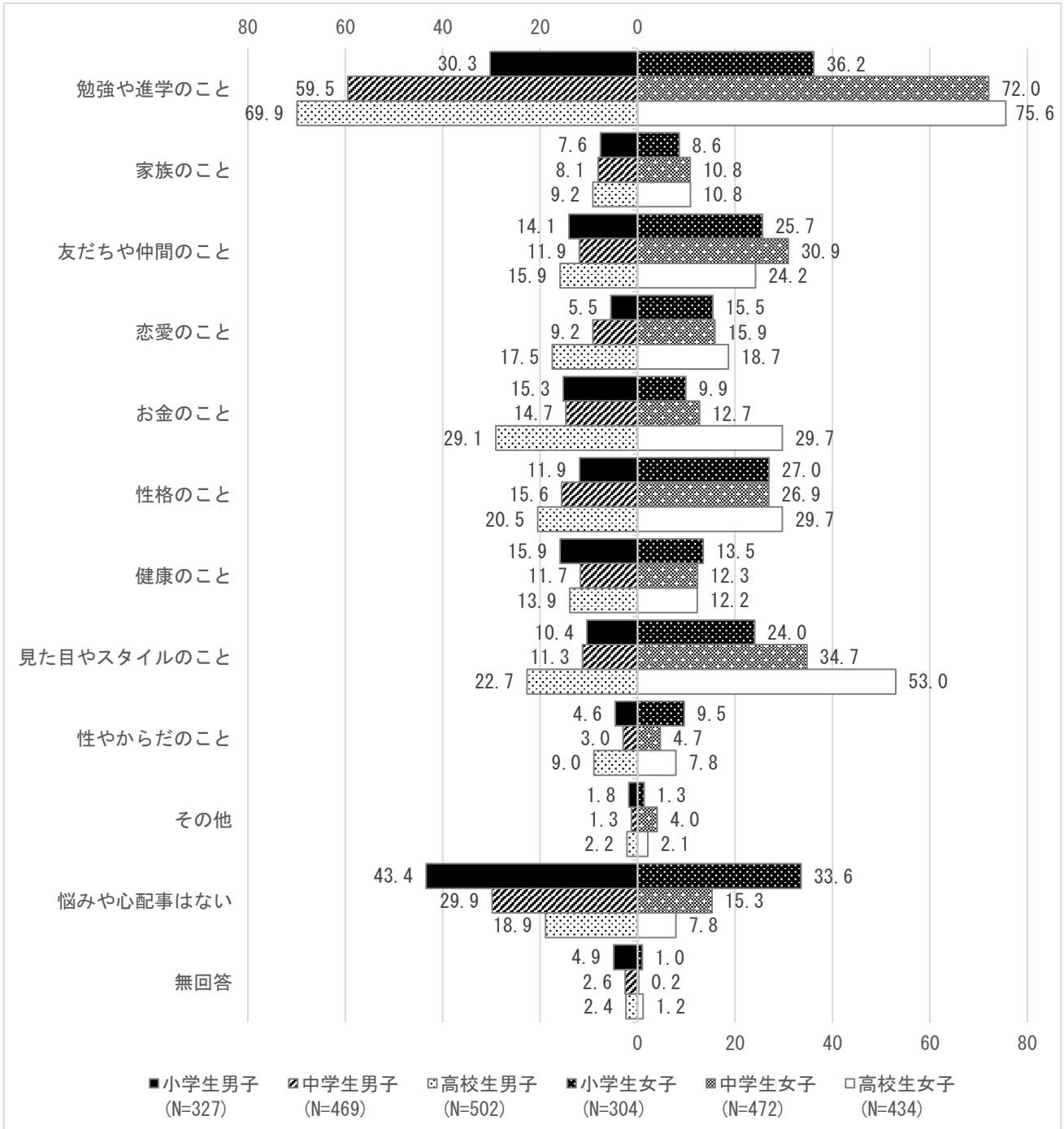
「悩みや心配事はない」の割合については、小学生では38.7%だが、中学生では22.4%、高校生では13.8%となっている。

ほか、高校生では「見た目やスタイルのこと」や「お金のこと」を悩んでいる割合が高い。

その他の記述では、中学生・高校生から「部活動のこと」(中学生10人, 高校生2人)が挙げられた。

参考：男女別の比較（中心軸の左側が男子，右側が女子）

(%)

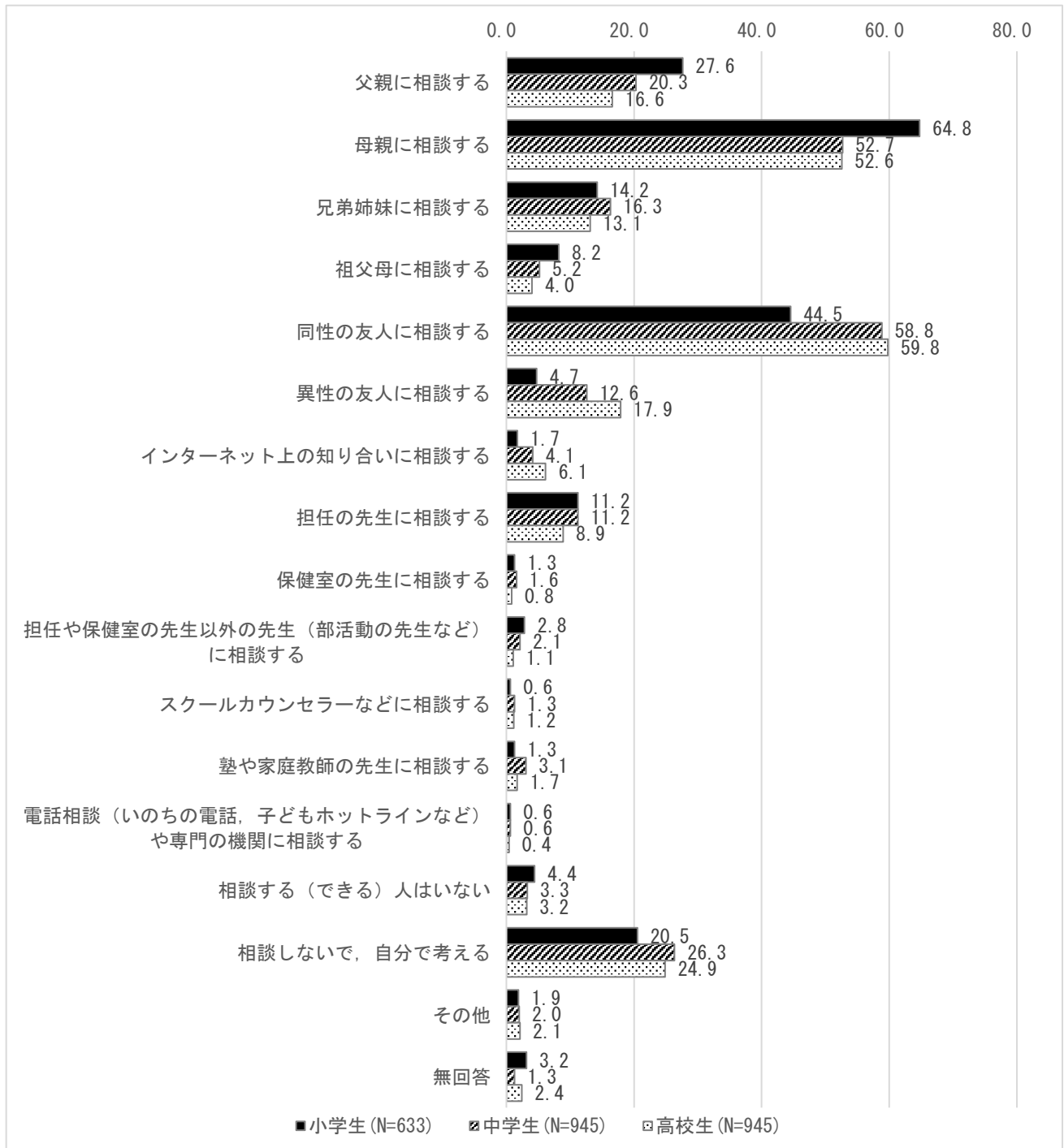


男女別に比較すると，男子は「悩みや心配事はない」の割合が高く，女子は全体的に男子より悩んでいる傾向があるが，特に「見た目やスタイルのこと」を悩んでいる割合が高くなっている。

[小学生 問24] [中学・高校生 問27]

悩みや心配ごとがあるとき、どうしていますか。(3つまで)

【悩みや心配事】 [小・中学生, 高校生] (3つまで) (%)



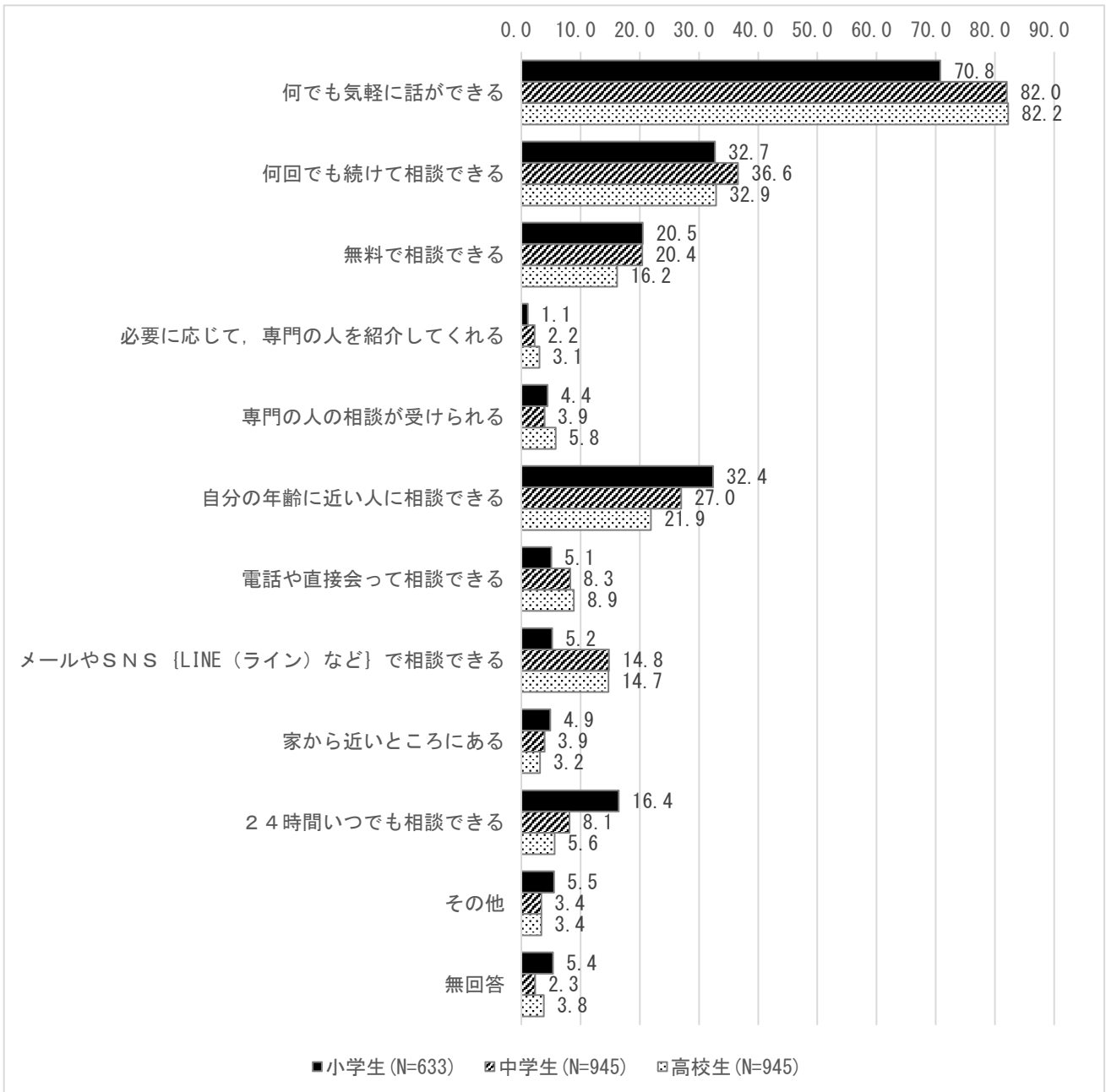
「母親」や「同性の友人」に相談する割合が高く、その重要性が分かる。一方、「スクールカウンセラー」や「専門の機関」に相談をする割合はごくわずかである。その他の記述では、小・中学生で「悩みはない」(5人)との回答も挙げられた。



男女別に比較すると、「父親」への相談割合は男子が高く，女子は「母親」や「同性の友人」に相談する割合が高い。また，「相談しないで，自分で考える」割合は男子が高くなっている。

[小学生 問25] [中学生 問28] [高校生 問32]
 悩みや心配ごとを相談するときに、何を重視しますか。(3つまで)

【悩みや心配ごとを相談する際に重視すること】 [小・中学生, 高校生] (3つまで) (%)



全ての学校段階において「何でも気軽に話ができる」の割合が最も高く、「何回でも続けて相談できる」「自分の年齢に近い人に相談できる」の割合も高くなっている。

その他の記述では、「約束や秘密を守ってくれる」(全学校種計17人)が挙げられている。

「電話や直接会って相談」よりも「メールやSNSで相談」割合が高く、「専門の人の相談」割合はこれよりも低くなっている。

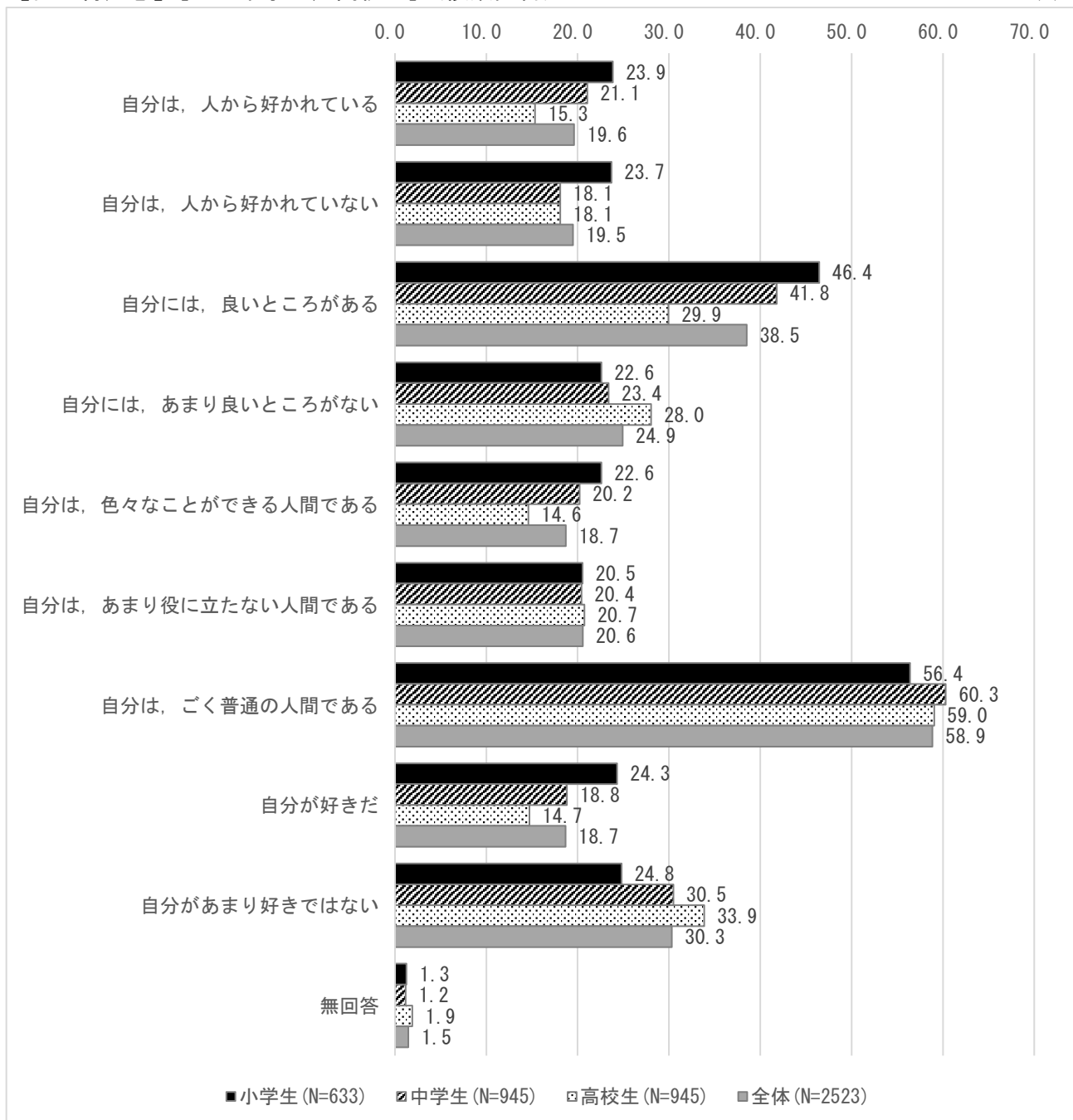
これに対して若者問25の数値を見ると、「電話や直接会って相談」の割合が最も高く、次いで「専門の人の相談」となっている。

V-3 自己肯定感・生活の満足度

[小学生 問20] [中学生 問23] [高校生 問29]

あなたは自分自身をどのように感じていますか。(複数回答)

【自己肯定感】[小・中学生, 高校生] (複数回答) (%)



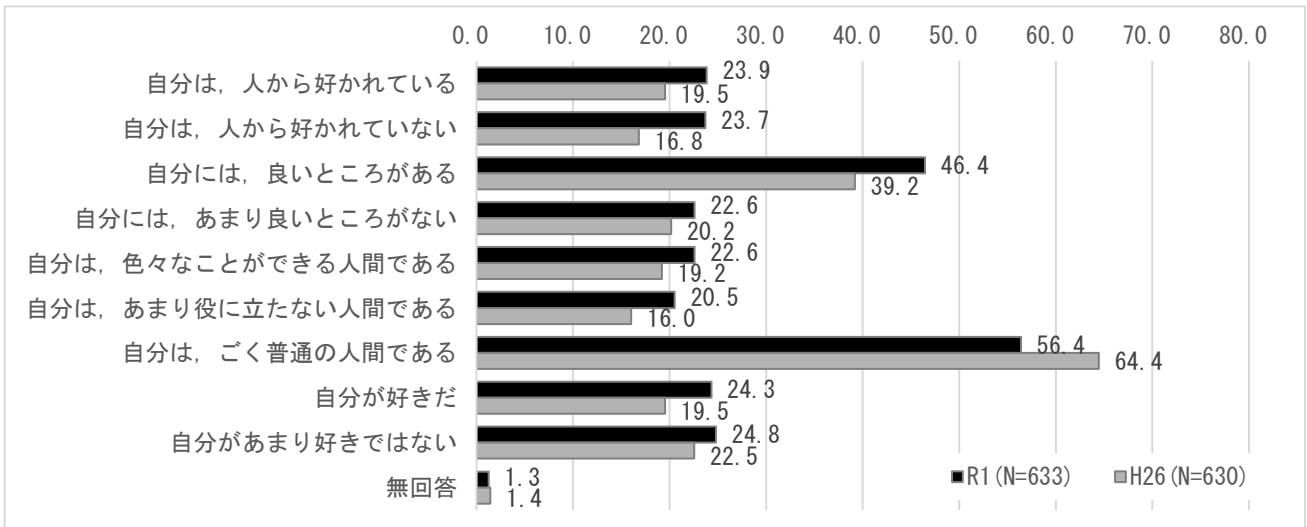
全ての学校段階で「自分は、ごく普通の人間である」の割合が最も高くなっている。

自身に対する肯定的な評価は小学生が最も高くなっているが、学校段階の進行に従い否定的になってゆき、高校生では「自分があまり好きではない」の割合が33.9%となっている。

参考：平成 26 年度調査との比較

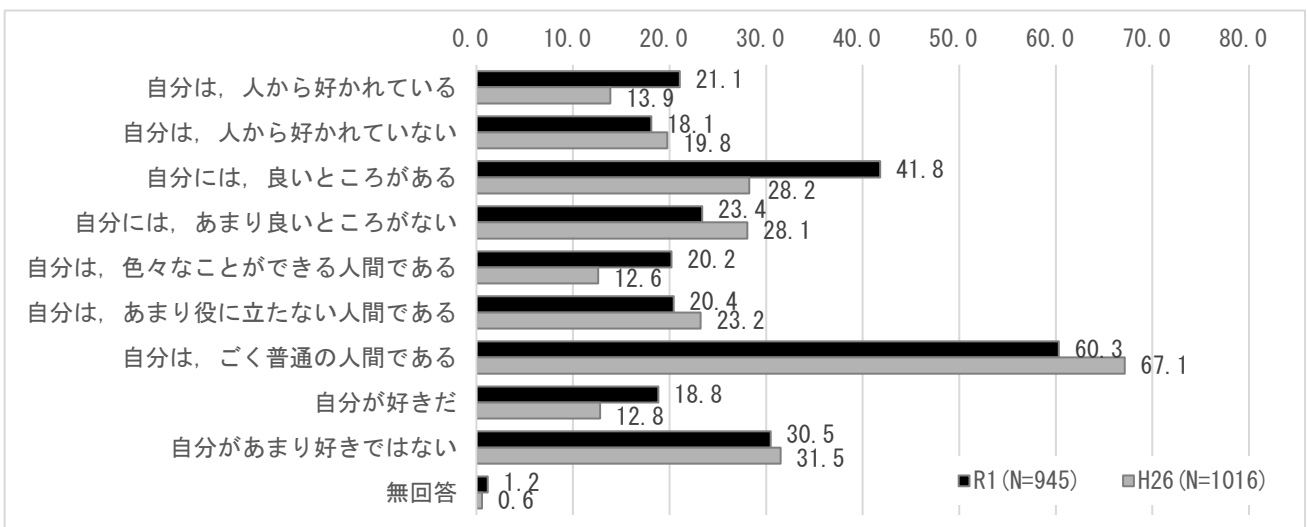
(1) 小学生

(%)



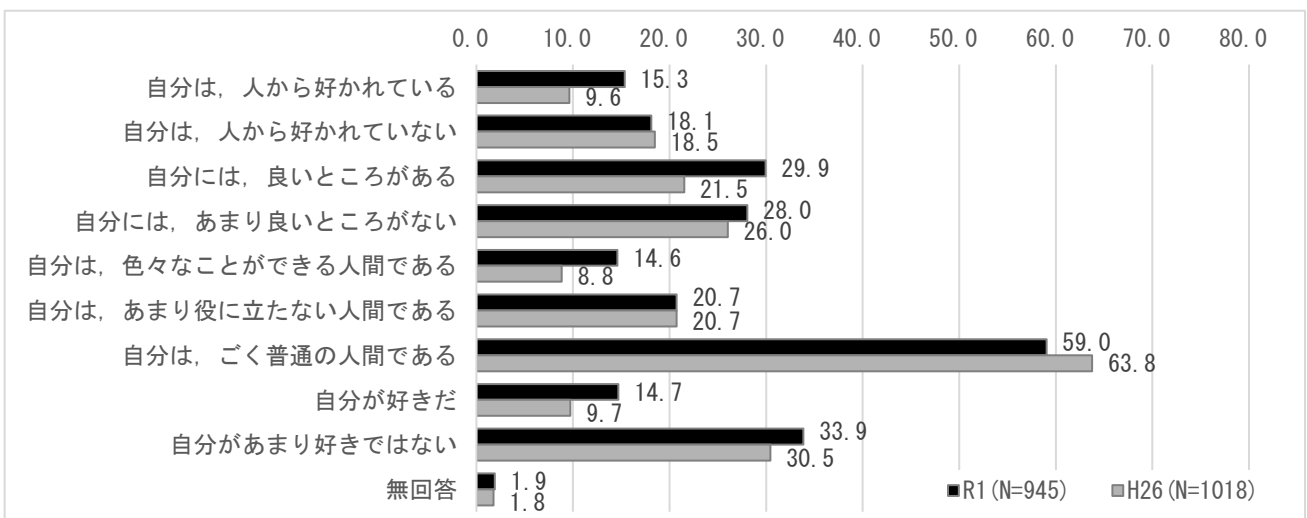
(2) 中学生

(%)



(3) 高校生

(%)



全ての学校段階で「自分には、良いところがある」等の肯定的な評価の割合が上昇している。

【指標 [青少年の自己肯定感・自尊感情]について】

「自分には、良いところがある」と回答した割合（小学生・中学生・高校生）

基準値（H26）	目標値（H32）	実績値（R1）
28.3%	36.0%	38.5%

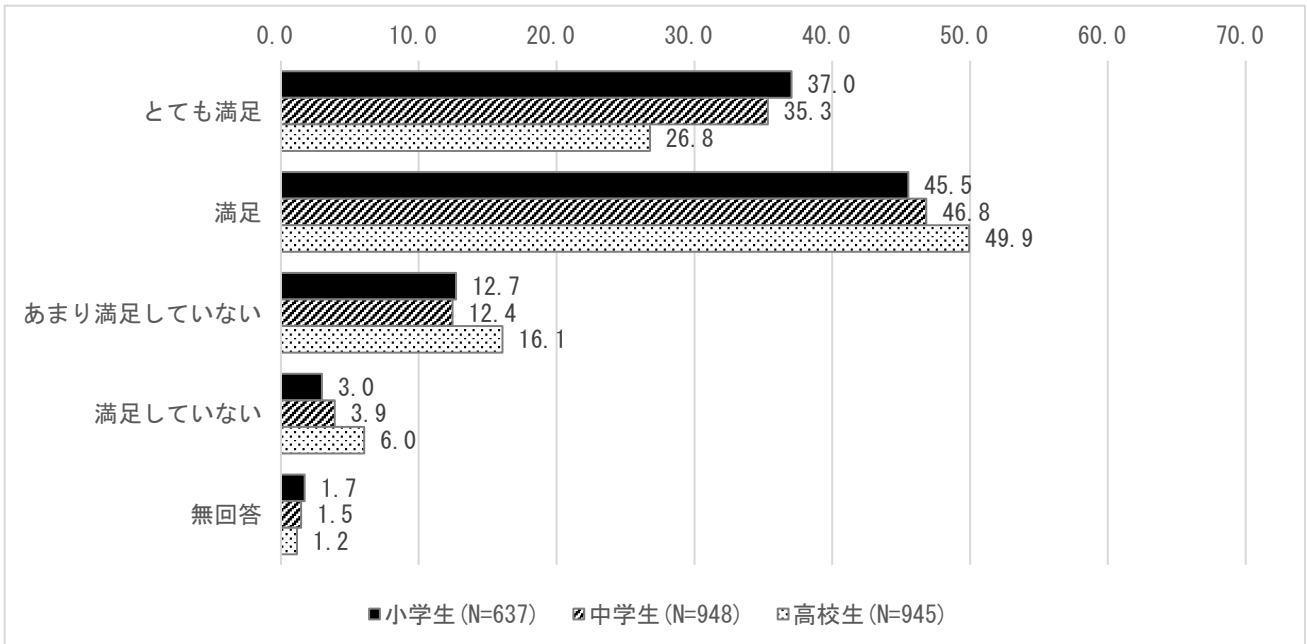
「自分には、良いところがある」と回答した小学生・中学生・高校生から全体を求めると、およそ38.5%となり目標値には到達している。

[小学生 問19] [中学生 問22] [高校生 問24]

あなたは、毎日の生活にどの程度満足していますか。(学校生活・家庭生活)

【学校生活の満足度】 [小・中学生, 高校生]

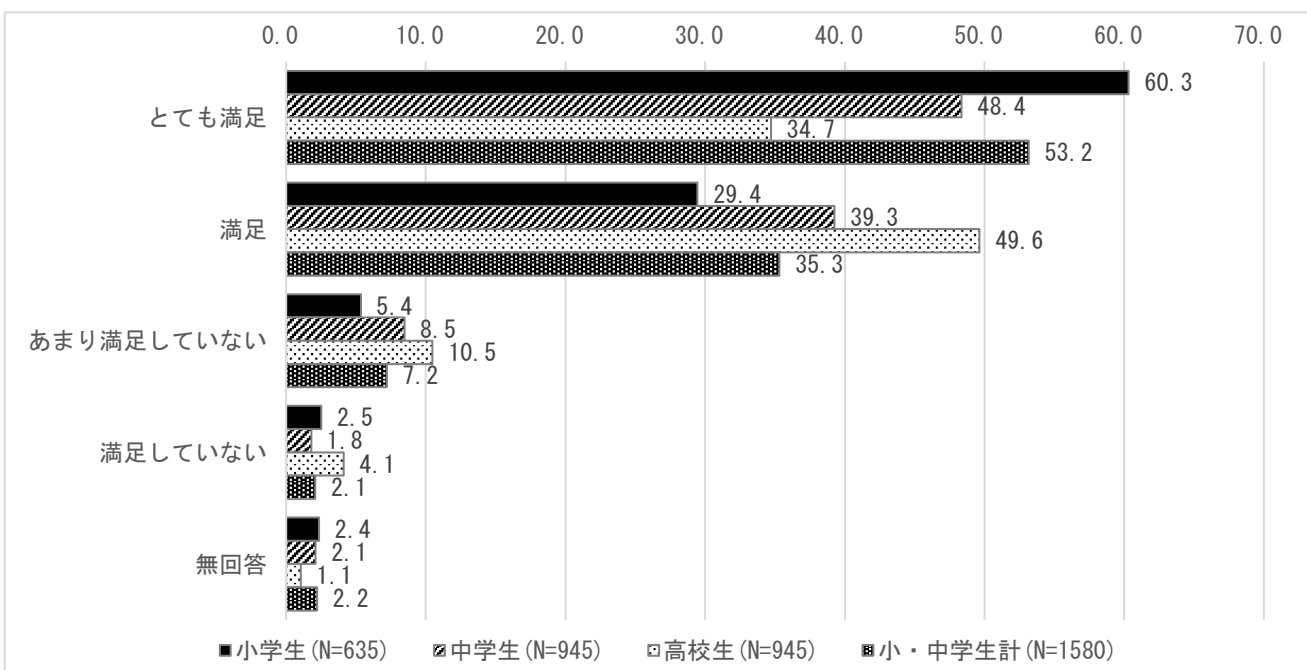
(%)



学校生活では、「とても満足」「満足」の割合が高くなっているが、学校段階で比較すると、高校生では「満足していない」割合がやや高くなっている。

【家庭生活の満足度】 [小・中学生, 高校生]

(%)



家庭生活では、「とても満足」「満足」の割合が高いが、学校段階の進行に従い、「とても満足」よりも「満足」の割合が高くなっている。

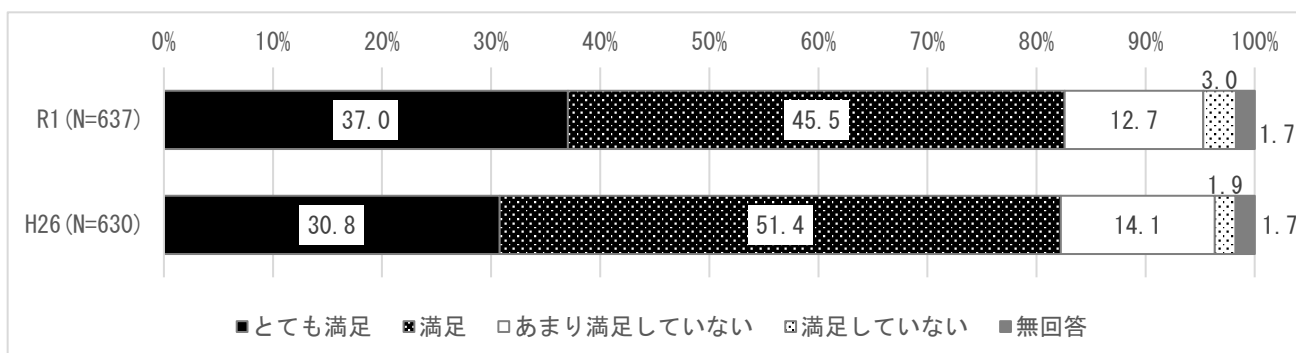
「満足していない」「あまり満足していない」の割合も高校生では他の学校段階より高くなっている。

参考：平成 26 年度調査との比較

1 学校生活

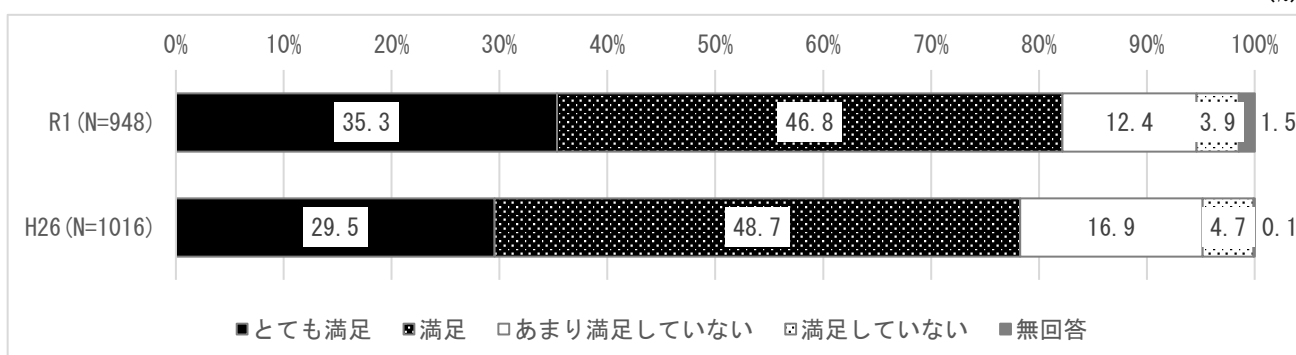
(1) 小学生

(%)



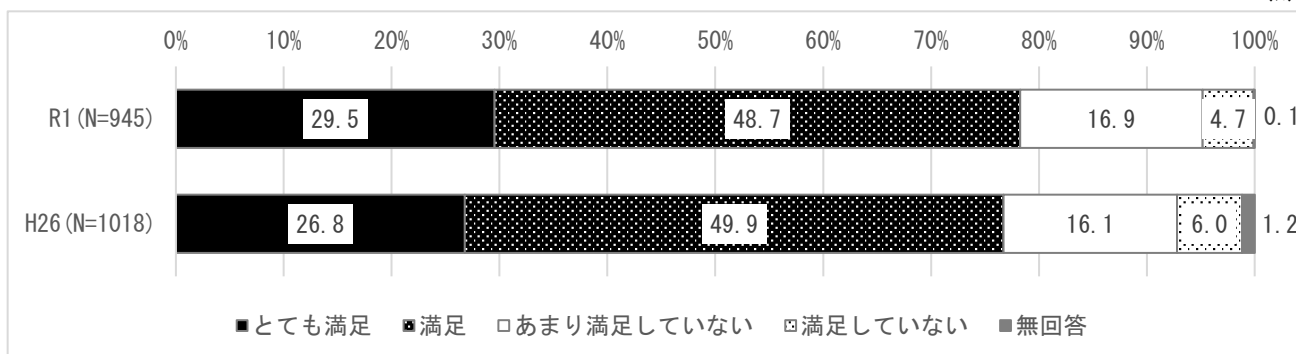
(2) 中学生

(%)



(3) 高校生

(%)



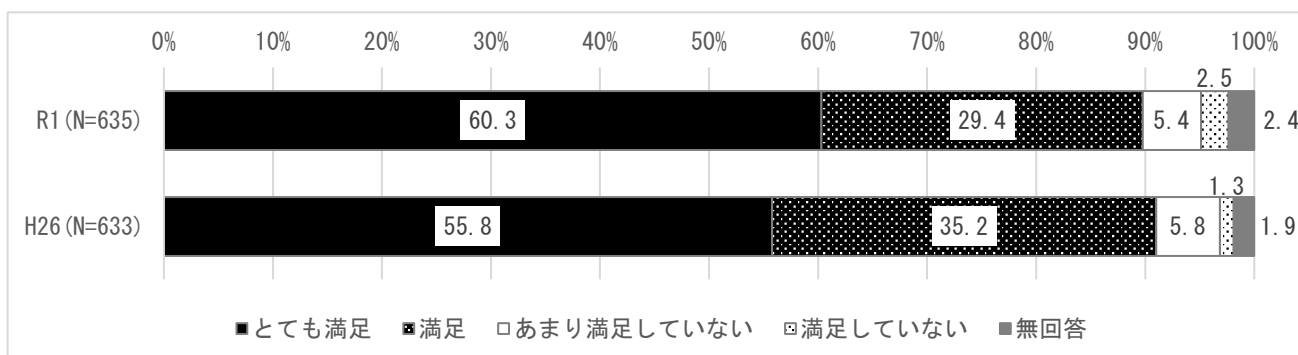
平成 26 年度調査と比較すると、全ての学校段階で「とても満足」の割合が上昇する一方で「あまり満足していない」の割合と「満足していない」の割合を合わせた不満足割合は低下している。

参考：平成 26 年度調査との比較

2 家庭生活

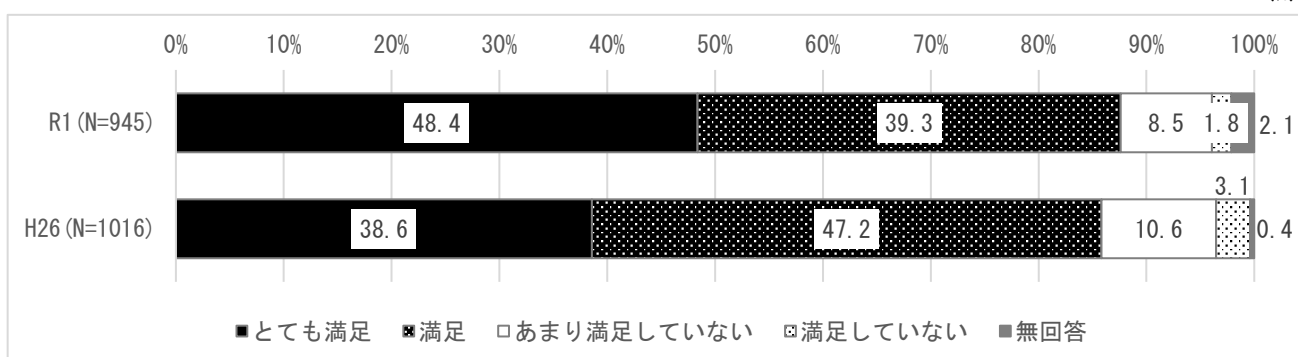
(1) 小学生

(%)



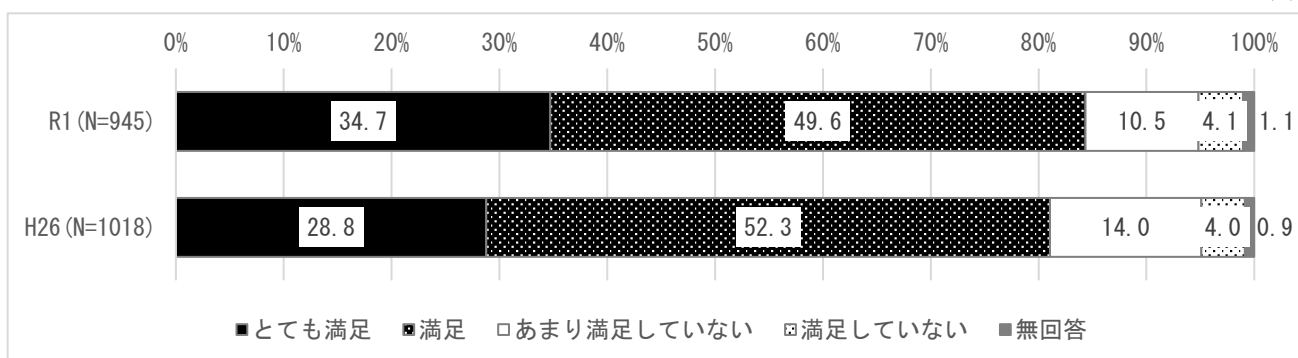
(2) 中学生

(%)



(3) 高校生

(%)



平成 26 年度調査と比較すると、全ての学校段階で、「とても満足」の割合が上昇しており、特に中学生では顕著な上昇がみられる。

「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた不満足割合は、中・高校生では低下しているが、小学生ではわずかに上昇している。

参考：学校生活の満足度と家庭生活の満足度

(1) 小学生 (％)

		家庭生活			
		とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない
学校生活	とても満足している (N=236)	83.9	11.4	3.0	0.8
	満足している (N=290)	52.1	40.3	5.5	2.1
	あまり満足していない (N=81)	34.6	48.1	12.3	3.7
	満足していない (N=19)	42.1	31.6	15.8	21.1

(2) 中学生 (％)

		家庭生活			
		とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない
学校生活	とても満足している (N=335)	77.0	18.2	3.0	0.6
	満足している (N=444)	36.3	52.7	8.8	1.8
	あまり満足していない (N=118)	24.6	49.2	21.2	3.4
	満足していない (N=37)	24.3	48.6	16.2	8.1

(3) 高校生 (％)

		家庭生活			
		とても満足している	満足している	あまり満足していない	満足していない
学校生活	とても満足している (N=253)	78.7	17.0	1.6	2.8
	満足している (N=472)	19.7	71.0	8.1	1.3
	あまり満足していない (N=152)	14.5	46.7	33.6	5.3
	満足していない (N=57)	22.8	35.1	10.5	31.6

学校生活の満足度と家庭生活の満足度について相関性を分析すると、全ての学校段階で、学校生活に「とても満足していると感じるほど、家庭生活に「とても満足している」と感じる割合が高い。

一方で、全ての学校段階で、学校生活に「とても満足している」「満足している」と感じる人のうち、家庭生活に「あまり満足していない」「満足していない」と感じる割合に対して、学校生活に満足していない「あまり満足していない」と感じる人のうち、家庭生活に「あまり満足していない」「満足していない」と感じる割合が高い。

参考：学校生活の満足度と何でも話せる友人の存在

(1) 小学生

(%)

		何でも話せる友人の存在			
		同性の友人 がいる	同性と異性の 友人がいる	異性の友人 がいる	友人は いない
学校生活の 満足度	とても満足している (N=236)	65.3	26.7	4.2	3.4
	満足している (N=290)	64.1	19.0	2.8	13.1
	あまり満足していない (N=81)	44.4	13.6	4.9	35.8
	満足していない (N=19)	42.1	21.1	0.0	36.8

(2) 中学生

(%)

		何でも話せる友人の存在			
		同性の友人 がいる	同性と異性の 友人がいる	異性の友人 がいる	友人は いない
学校生活の 満足度	とても満足している (N=335)	65.7	30.1	1.2	3.0
	満足している (N=444)	64.4	22.5	1.6	11.3
	あまり満足していない (N=118)	59.3	14.4	4.2	19.5
	満足していない (N=37)	40.5	13.5	0.0	45.9

(3) 高校生

(%)

		何でも話せる友人の存在			
		同性の友人 がいる	同性と異性の 友人がいる	異性の友人 がいる	友人は いない
学校生活の 満足度	とても満足している (N=253)	64.0	29.6	3.2	3.2
	満足している (N=472)	60.4	20.3	5.3	13.3
	あまり満足していない (N=152)	57.9	12.5	3.9	25.0
	満足していない (N=57)	45.6	21.1	5.3	28.1

学校生活の満足度と何でも話せる友人の存在について相関性を分析すると、全ての学校段階において、「同性の友人がいる」または「同性と異性の友人がいる」のうち、学校生活に「満足していない」「あまり満足していない」の不満足の割合より、「とても満足している」「満足している」割合が高くなっている。

一方で、全ての学校段階で、学校生活に「満足していない」と感じるほど、「友人はいない」割合が高い。

参考：家庭生活の満足度と何でも話せる友人の存在

(1) 小学生

(%)

		何でも話せる友人の存在			
		同性の友人 がいる	同性と異性の 友人がいる	異性の友人 がいる	友人は いない
家庭生活の 満足度	とても満足している (N=383)	65.3	23.5	2.6	8.4
	満足している (N=187)	58.3	17.1	6.4	16.0
	あまり満足していない (N=34)	47.1	14.7	0.0	38.2
	満足していない (N=16)	25.0	31.3	0.0	43.8

(2) 中学生

(%)

		何でも話せる友人の存在			
		同性の友人 がいる	同性と異性の 友人がいる	異性の友人 がいる	友人は いない
家庭生活の 満足度	とても満足している (N=457)	64.8	27.4	0.7	7.0
	満足している (N=371)	64.4	20.8	2.7	11.6
	あまり満足していない (N=80)	53.8	22.5	2.5	21.3
	満足していない (N=17)	35.3	17.6	0.0	41.2

(3) 高校生

(%)

		何でも話せる友人の存在			
		同性の友人 がいる	同性と異性の 友人がいる	異性の友人 がいる	友人は いない
家庭生活の 満足度	とても満足している (N=328)	64.3	25.0	4.0	6.7
	満足している (N=469)	60.6	18.6	4.7	15.6
	あまり満足していない (N=99)	48.5	23.2	6.1	21.2
	満足していない (N=39)	48.7	25.6	2.6	23.1

家庭生活の満足度と何でも話せる友人について相関性を分析すると、全ての学校段階において、「同性の友人がいる」または「同性と異性の友人がいる」のうち、家庭生活に「満足していない」「あまり満足していない」の不満足の割合より、「とても満足している」「満足している」の割合が高い。

参考：学校生活の満足度とインターネットの利用状況 [小・中学生，高校生]

(1) 小学生

(%)

		インターネットの利用状況			
		メールやLINEなどのコミュニケーションアプリで知らない人とやりとりをする	ツイッターやフェイスブックなどを利用する	動画サイトを利用する	ゲームなどのアプリケーションソフトを利用する
学校生活の満足度	とても満足している (N=236)	0.4	2.5	48.7	62.3
	満足している (N=290)	2.1	7.2	49.7	56.2
	あまり満足していない (N=81)	1.2	3.7	54.3	55.6
	満足していない (N=19)	0.0	0.0	57.9	63.2

(2) 中学生

(%)

		インターネットの利用状況			
		メールやLINEなどのコミュニケーションアプリで知らない人とやりとりをする	ツイッターやフェイスブックなどを利用する	動画サイトを利用する	ゲームなどのアプリケーションソフトを利用する
学校生活の満足度	とても満足している (N=335)	8.1	34.6	72.2	73.7
	満足している (N=444)	9.7	35.4	77.9	77.7
	あまり満足していない (N=118)	14.4	49.2	79.7	82.2
	満足していない (N=37)	18.9	48.6	89.2	70.3

(3) 高校生

(%)

		インターネットの利用状況			
		メールやLINEなどのコミュニケーションアプリで知らない人とやりとりをする	ツイッターやフェイスブックなどを利用する	動画サイトを利用する	ゲームなどのアプリケーションソフトを利用する
学校生活の満足度	とても満足している (N=253)	11.1	80.2	82.6	79.1
	満足している (N=472)	12.3	81.4	89.2	87.3
	あまり満足していない (N=152)	18.4	78.9	85.5	83.6
	満足していない (N=57)	26.3	78.9	86.0	78.9

学校生活の満足度とインターネットの利用状況の相関性を分析すると、中・高校生では、学校生活での満足度が低いほど、「メールやLINEなどのコミュニケーションアプリで知らない人とやりとりをする」割合が高い。

参考：家庭生活の満足度とインターネットの利用状況 [小・中学生，高校生]

(1) 小学生

(%)

		インターネットの利用状況			
		メールやLINEなどのコミュニケーションアプリで知らない人とやりとりをする	ツイッターやフェイスブックなどを利用する	動画サイトを利用する	ゲームなどのアプリケーションソフトを利用する
家庭生活の満足度	とても満足している (N=383)	0.3	3.9	50.1	61.1
	満足している (N=187)	2.7	7.5	52.4	57.8
	あまり満足していない (N=34)	2.9	0.0	41.2	44.1
	満足していない (N=16)	6.3	6.3	56.3	50.0

(2) 中学生

(%)

		インターネットの利用状況			
		メールやLINEなどのコミュニケーションアプリで知らない人とやりとりをする	ツイッターやフェイスブックなどを利用する	動画サイトを利用する	ゲームなどのアプリケーションソフトを利用する
家庭生活の満足度	とても満足している (N=457)	6.8	32.8	75.1	75.3
	満足している (N=371)	13.2	40.7	78.4	77.9
	あまり満足していない (N=80)	16.3	52.5	78.8	78.8
	満足していない (N=17)	5.9	29.4	70.6	76.5

(3) 高校生

(%)

		インターネットの利用状況			
		メールやLINEなどのコミュニケーションアプリで知らない人とやりとりをする	ツイッターやフェイスブックなどを利用する	動画サイトを利用する	ゲームなどのアプリケーションソフトを利用する
家庭生活の満足度	とても満足している (N=328)	11.0	80.5	85.4	82.0
	満足している (N=469)	14.3	80.2	88.1	85.7
	あまり満足していない (N=99)	14.1	81.8	83.8	81.8
	満足していない (N=39)	30.8	82.1	87.2	84.6

家庭生活の満足度とインターネットの利用状況の相関性を分析すると、高校生では、家庭生活に「満足していない」ほど、「メールやLINEなどのコミュニケーションアプリで知らない人とやりとりをする」の割合が高くなっている。ただし、これ以外については、全ての学校段階において、家庭生活の満足度によるインターネットの利用状況には顕著な差異は見られない。

【指標 [家庭生活の満足度]について】

家庭生活に「とても満足している」割合（小学生・中学生）

基準値 (H26)	目標値 (H32)	実績値 (R1)
45.2%	56.0%	53.2%

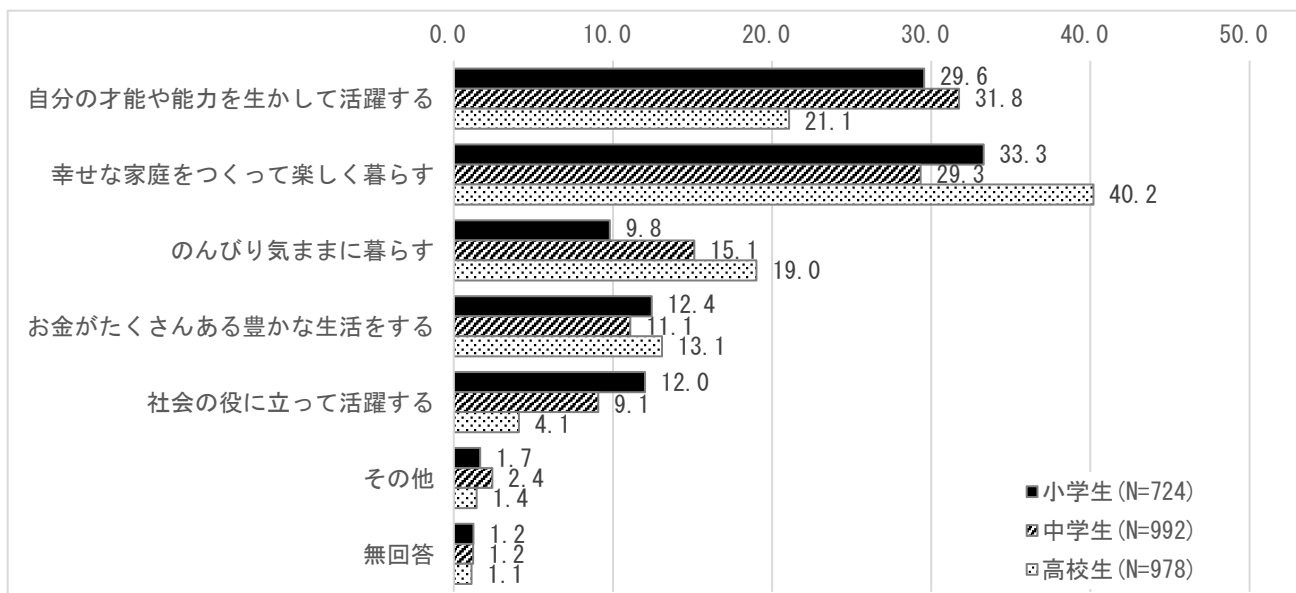
家庭生活の満足度（「とても満足している」割合）は，目標値 56.0%に対し，小中合計で見ると 53.2%なので，前回調査時（H26＝45.2%）と比較して上昇している。「とても満足している」割合は学校段階の進行に従い低下している。

V-4 将来像

[小学生 問22] [中学生 問25] [高校生 問25]

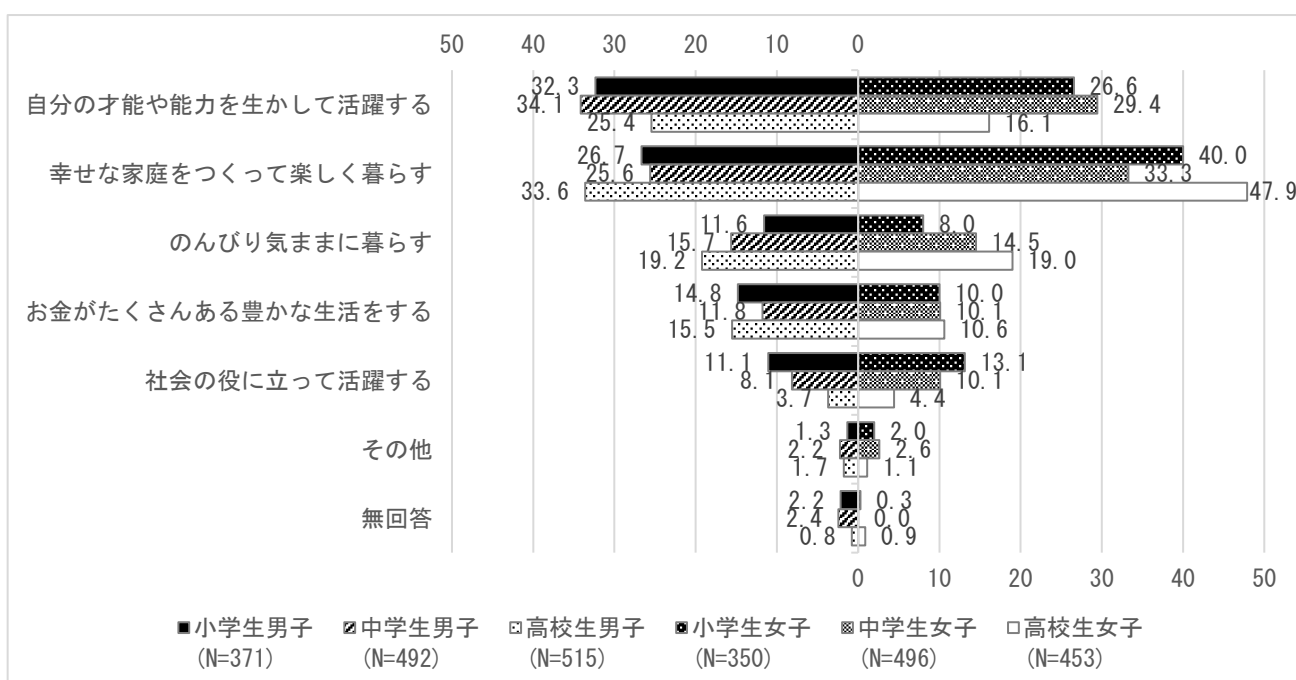
あなたは、自分の将来の生活・生き方について、何を一番大事にしたいと考えていますか。

【自分の将来の生活・生き方について、一番大事にしたいこと】[小・中学生, 高校生] (%)



小学生・高校生では「幸せな家庭をつかって楽しく暮らす」割合が最も高く、中学生では「自分の才能や能力を生かして活躍する」割合が最も高くなっている。学校段階の進行に従い、「のんびり気ままに暮らす」割合が上昇する一方で、「社会の役に立って活躍する」割合が低くなっている。

参考：男女比較 (中心軸の左側が男子, 右側が女子) (%)



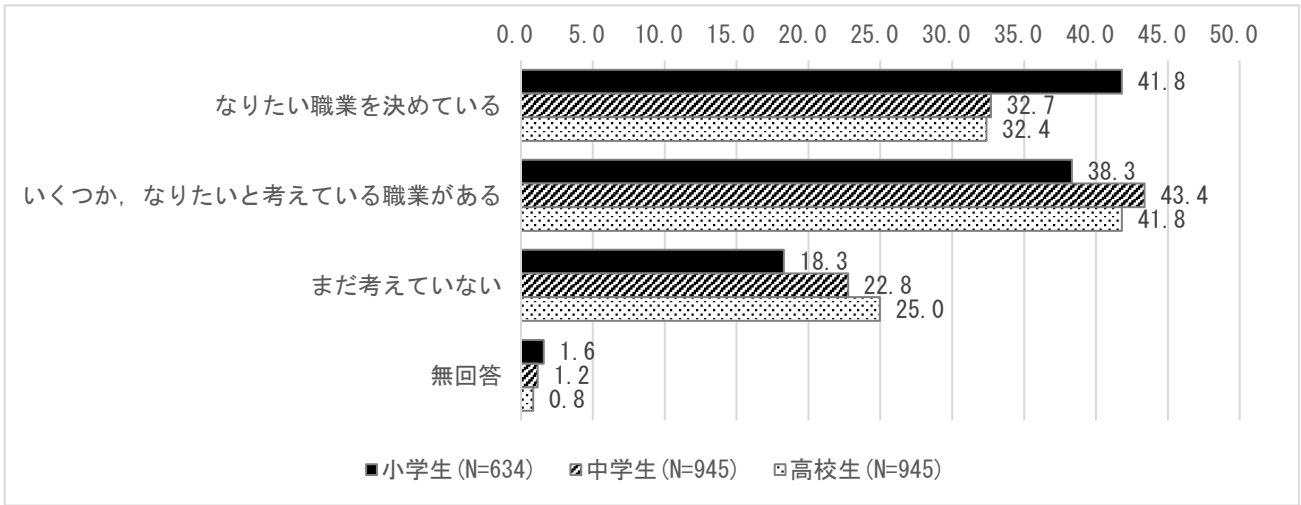
男女別に比較すると、男子は「自分の才能や能力を生かして活躍する」の割合が高く、女子は「幸せな家庭をつかって楽しく暮らす」の割合が高くなっている。

[小学生 問21] [中学生 問24] [高校生 問21]

あなたは、将来なりたい職業はありますか。

【将来なりたい職業】[小・中学生, 高校生]

(%)



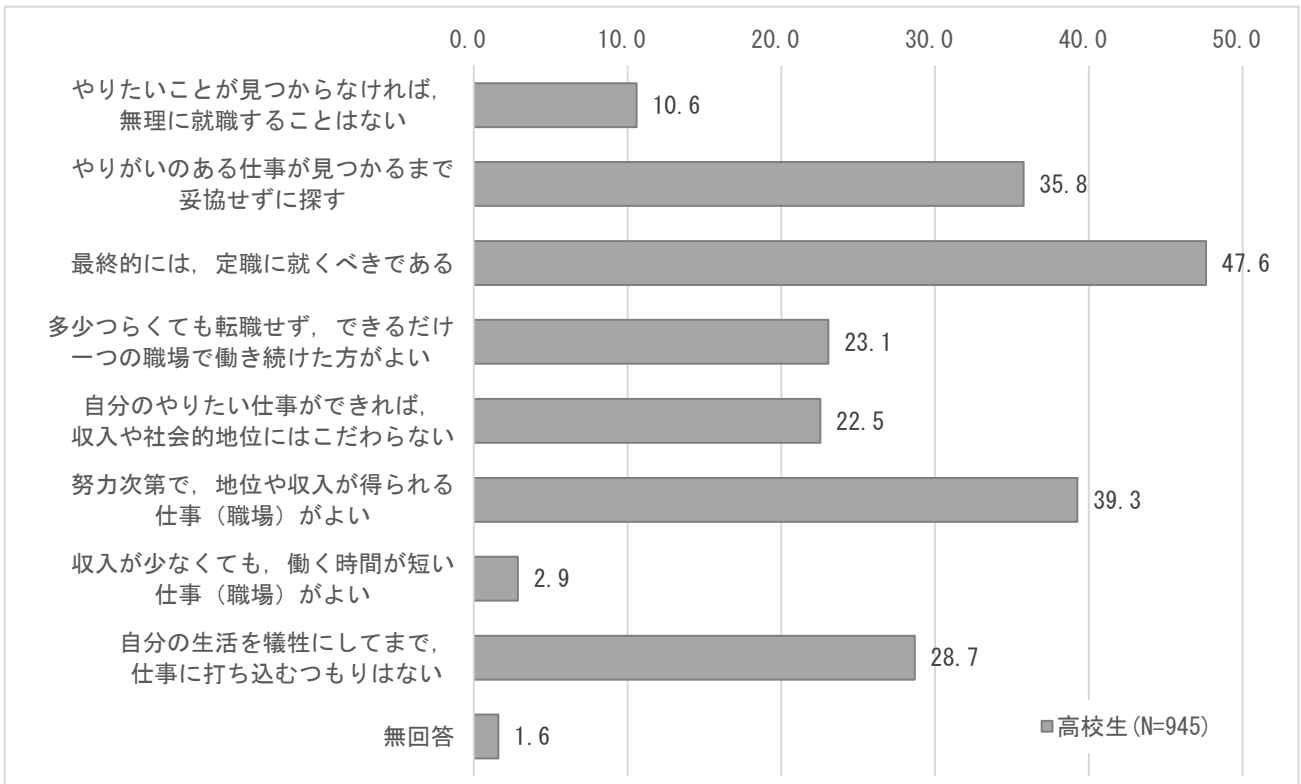
「なりたい職業を決めている」割合は、小学生が最も高く 41.8%となっている。中学・高校生になると、現実的に将来について考えるようになることから、「いくつか、なりたいと考えている職業がある」や「まだ考えていない」の割合が増加している。

[高校生 問22]

職業に関する考え方について、あなたの考え方に近いものはどれですか。(複数回答)

【職業に関する考え方】[高校生] (複数回答)

(%)



高校生が職業について最も考えている項目は「最終的には、定職につくべき」の47.6%となっている。次いで「努力次第で、地位や収入が得られる仕事（職場）がよい」や「やりがいのある仕事が見つかるまで妥協せずに探す」の順に割合が高くなっている。

一方、「自分の生活を犠牲にしてまで、仕事に打ち込むつもりはない」の割合も28.7%となっており、約4分の1の高校生が生活と仕事のバランスを重視している。

「収入が少なくても、働く時間が短い仕事（職場）がよい」の割合は最も低く2.9%となっている。

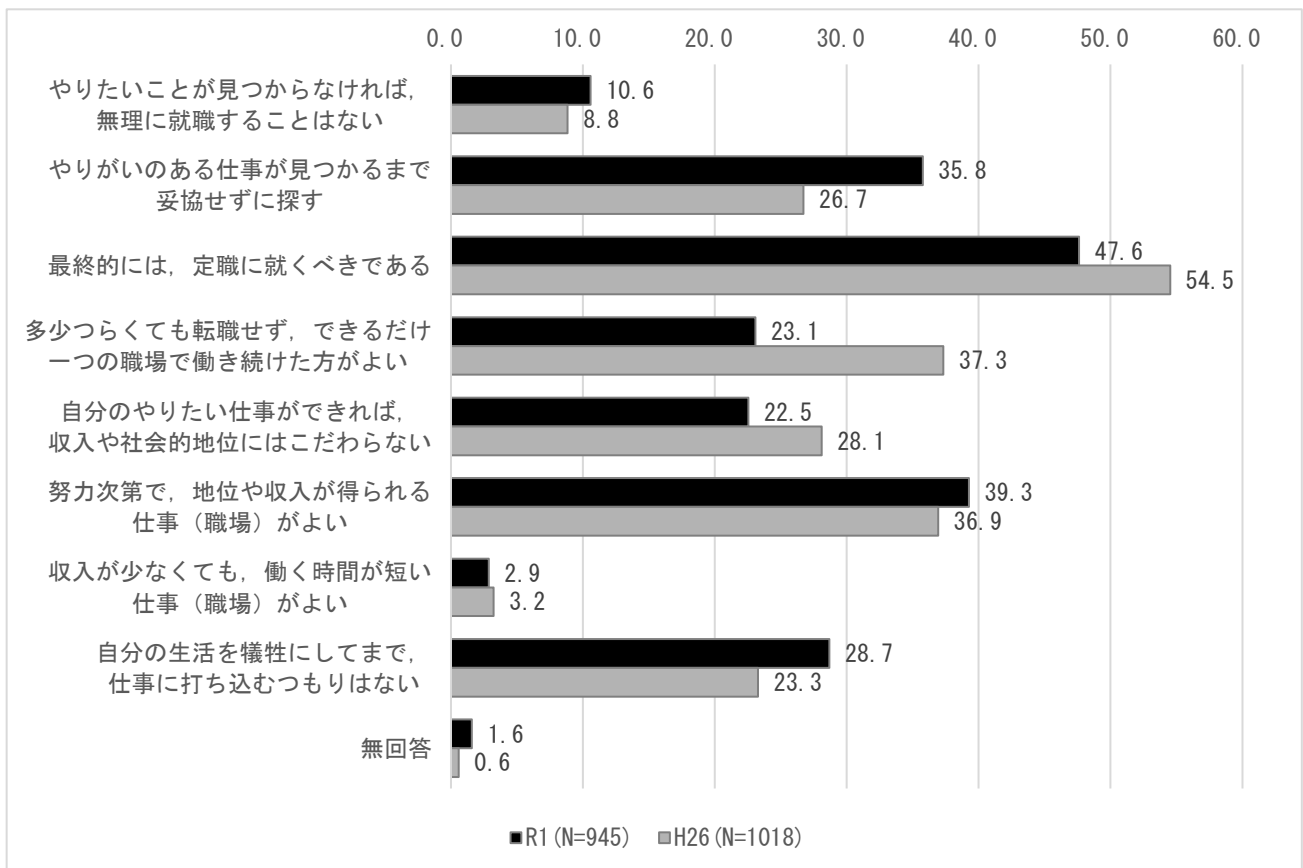
【最終的には、定職に就くべきであると考えている高校生について】（複数回答） (%)

項目	「最終的には、 定職につくべき である」と回答 した高校生	(比較) 高校生全体
	N=450	N=945
やりたいことが見つからなければ、無理に就職することはない	5.8	10.6
やりがいのある仕事が見つかるまで妥協せずに探す	26.2	35.8
多少つらくても転職せず、できるだけ一つの職場で働き続けた方がよい	26.2	23.1
自分のやりたい仕事ができれば、収入や社会的地位にはこだわらない	15.6	22.5
努力次第で、地位や収入が得られる仕事（職場）がよい	42.4	39.3
収入が少なくても、働く時間が短い仕事（職場）がよい	3.3	2.9
自分の生活を犠牲にしてまで、仕事に打ち込むつもりはない	30.9	28.7

最終的に定職に就くべきであると考えている高校生について、その他の選択肢との関連を分析すると、「やりがいのある仕事が見つかるまで妥協せずに探す」割合が26.2%であり、高校生全体と比較すると9.6%低く、「自分のやりたい仕事ができれば、収入や社会的地位にはこだわらない」割合は15.6%であり、高校生全体より6.9%低い。

「努力次第で、地位や収入が得られる仕事（職場）がよい」と回答した割合は42.4%であり、高校生全体より3.1%高い結果となっている。

参考：平成 26 年度調査との比較



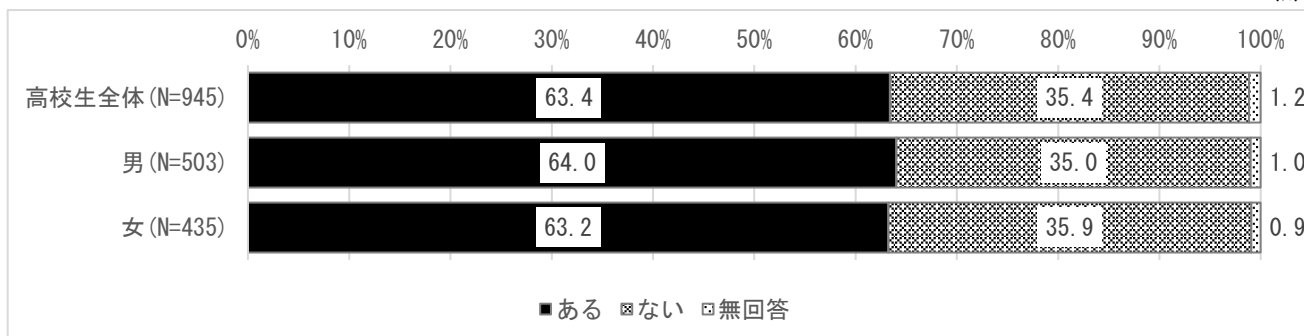
平成 26 年度の調査と比較すると、「やりがいのある仕事が見つかるまで妥協せずに探す」割合が上昇する一方で、「多少つらくても転職せず、できるだけ一つの職場で働き続けたほうが良い」の割合が大きく低下している。

V-5 その他
 <男女共同参画について>

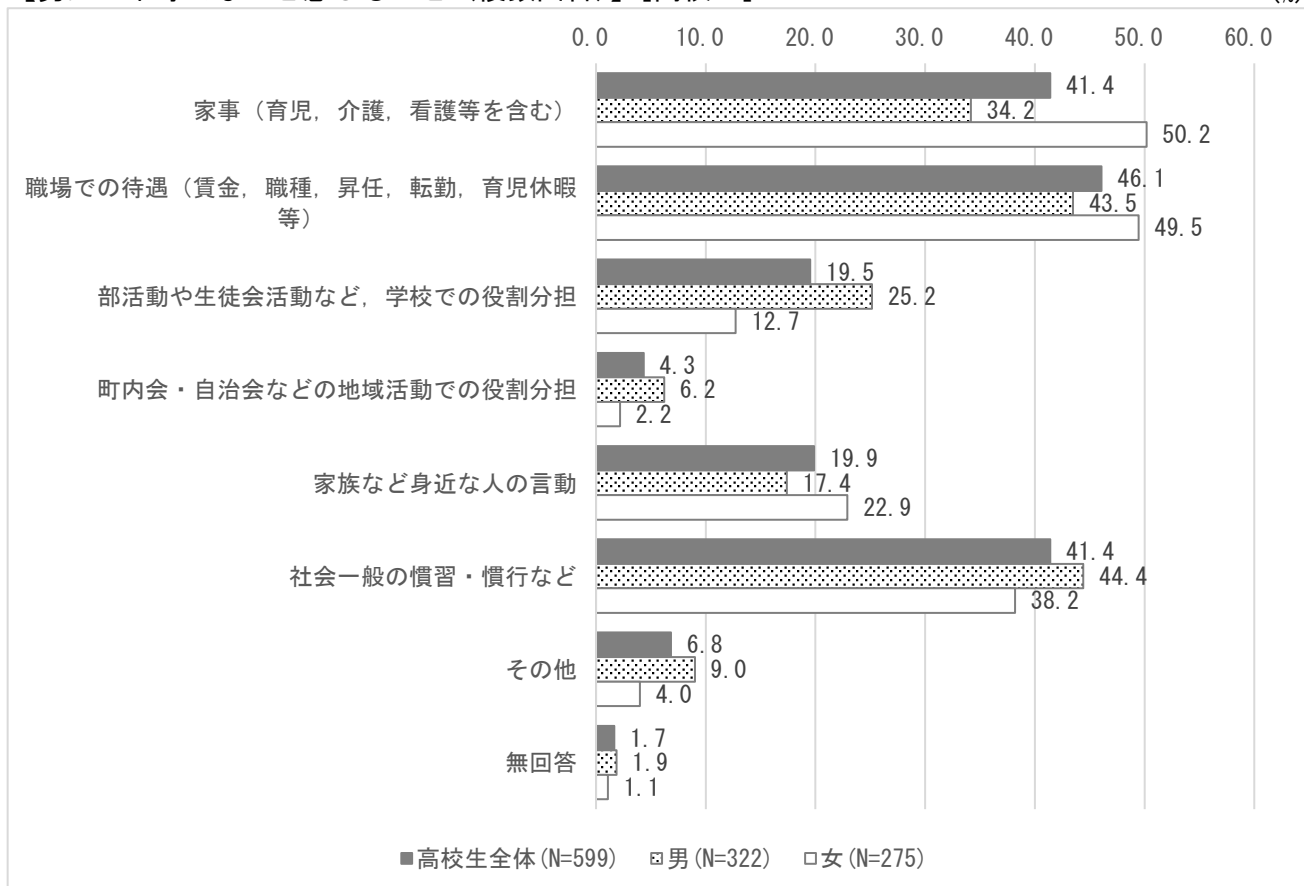
[高校生 問26]

あなたは、現在の社会において男女が平等でないと感じることがありますか。
 ある場合、それはどんなことですか。（複数回答）

【男女が平等でないと感じることがありますか】 [高校生] (%)



【男女が平等でないと感じること（複数回答）】 [高校生] (%)



男女が平等ではないと感じている割合は全ての学校段階で60%程度となっている。

平等でないと感じる理由を男女間で比較すると、「社会一般の慣習・慣行など」の割合で男子が高くなっており、「家事」の割合で女子が高い。

その他の記述では、「女性専用車両があること」（10人）、「ひいきするなど先生の態度が異なる」（5人）などが挙げられた。

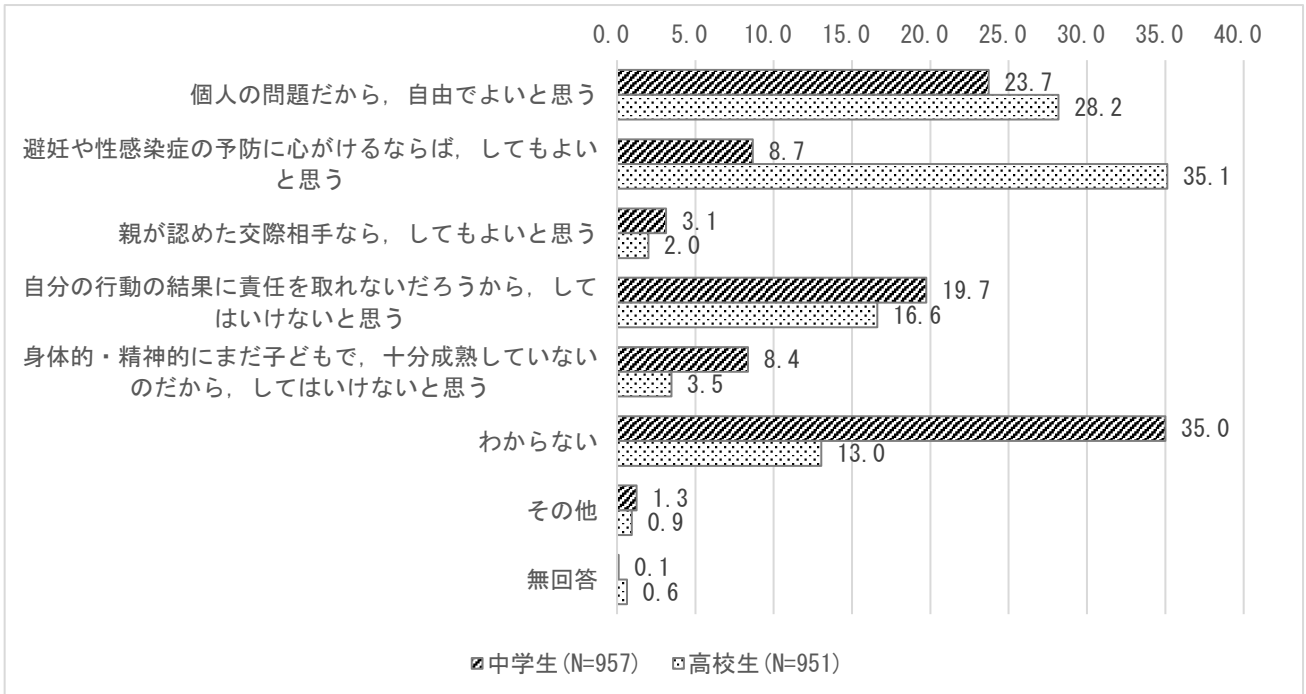
<性行為について>

[中学生 問18] [高校生 問17]

あなたは、中学生（高校生には「高校生」として質問）が性的な関係をもつ（性交する）ことについて、どう思いますか。

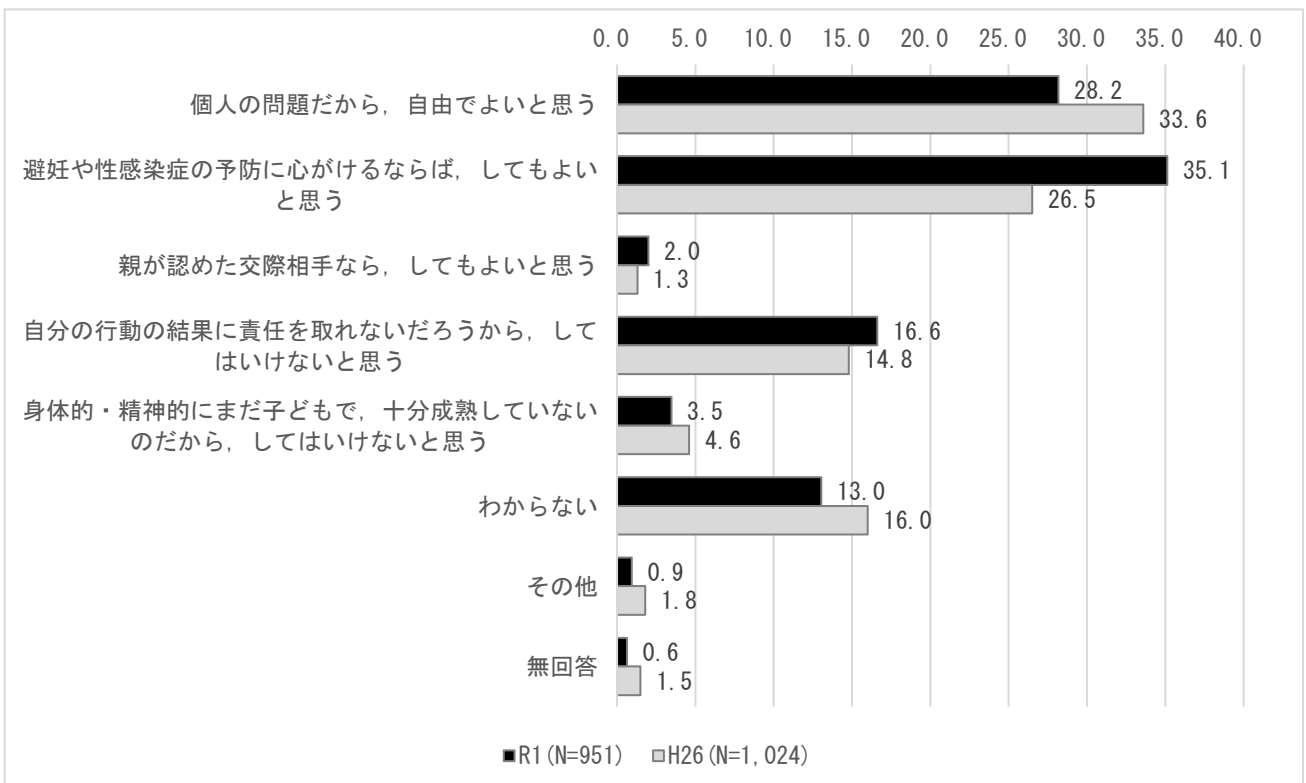
【性的な関係をもつ（性交する）ことについて】[中学・高校生]

(%)



参考：平成26年度調査との比較（高校生）

(%)

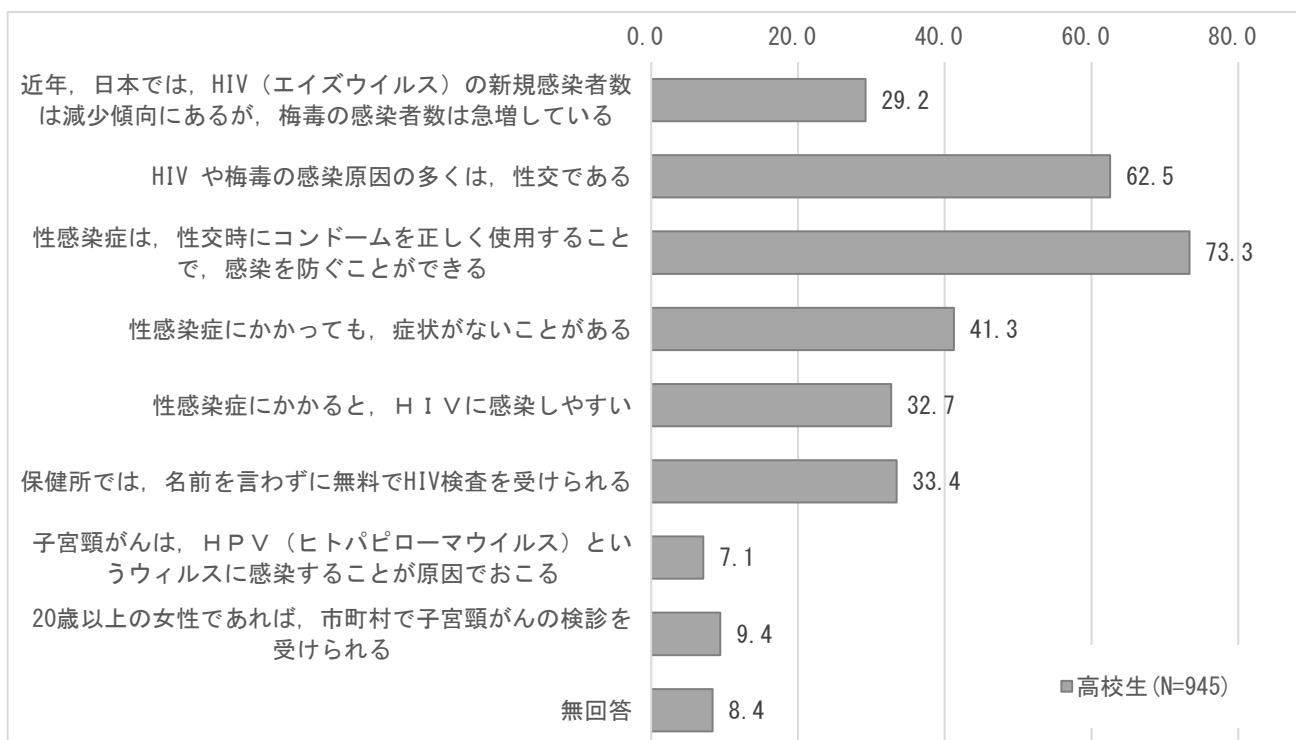


[高校生 問18]

あなたが次の中で知っているものはどれですか。(複数回答)

【性行為に関する知識】[高校生] (複数回答)

(%)



高校生の、性的な関係をもつことについての意識（問17）は前回よりも「自由でよい」の割合が5.4%低下する一方で、「してもよい」の割合が8.6%上昇している。

<様々な行為について>

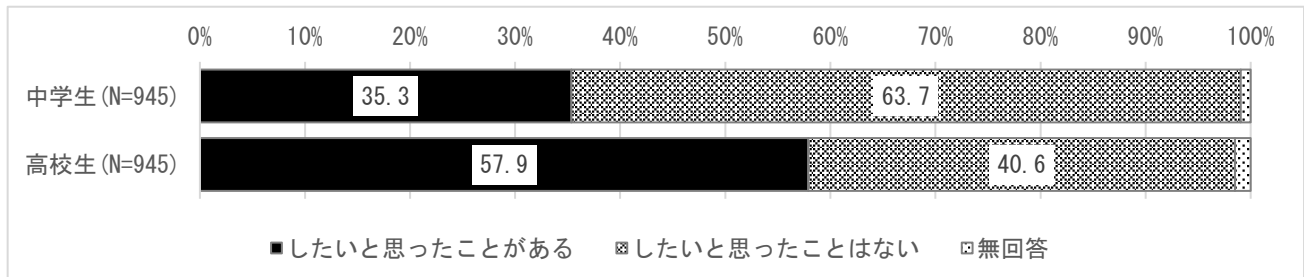
[中学・高校生 問20]

次のようなことについて、あなたはしたいと思ったことがありますか。

【次のようなことについて、あなたは、したいと思ったことがありますか】 [中学・高校生]

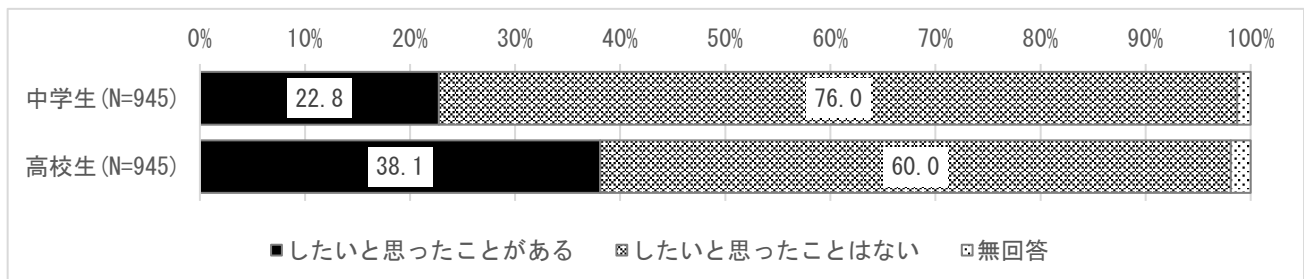
(1) 髪の毛を染めること

(%)



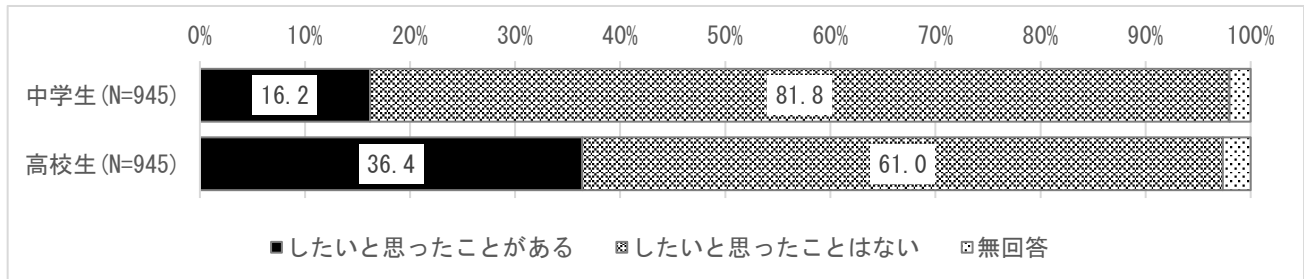
(2) ピアスをすること

(%)



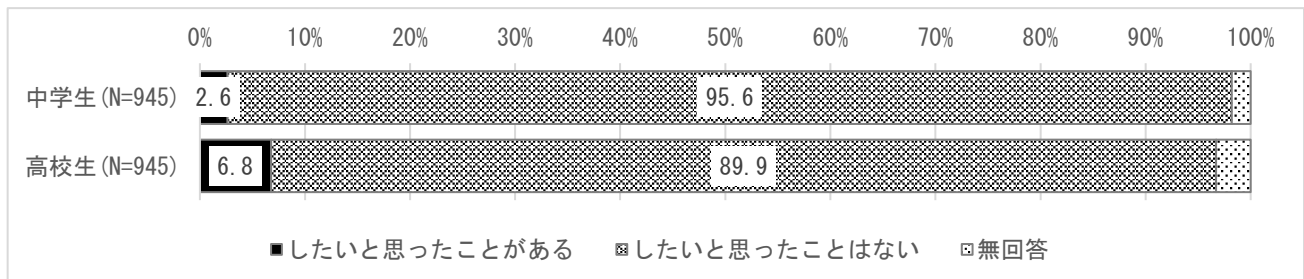
(3) 制服の長さを変えたり、くずしたりして着ること

(%)



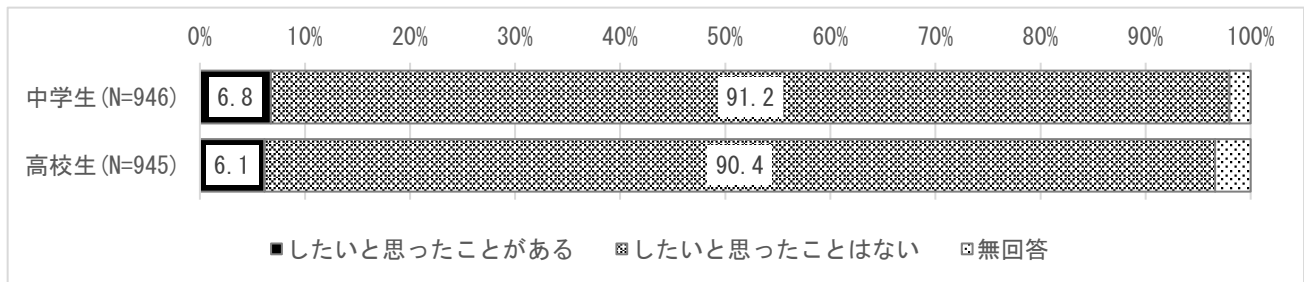
(4) 駅やコンビニの前などの地べた、または電車内などの床に座ること

(%)



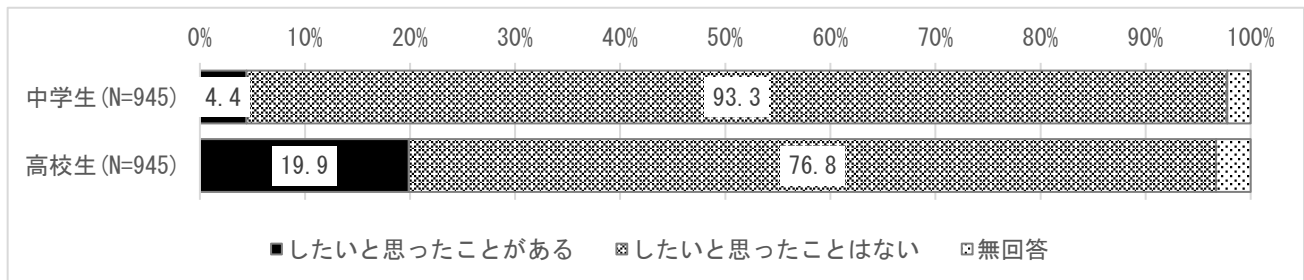
(5) 気に入らない友だちをいじめたり、仲間はずれにしたりすること

(%)



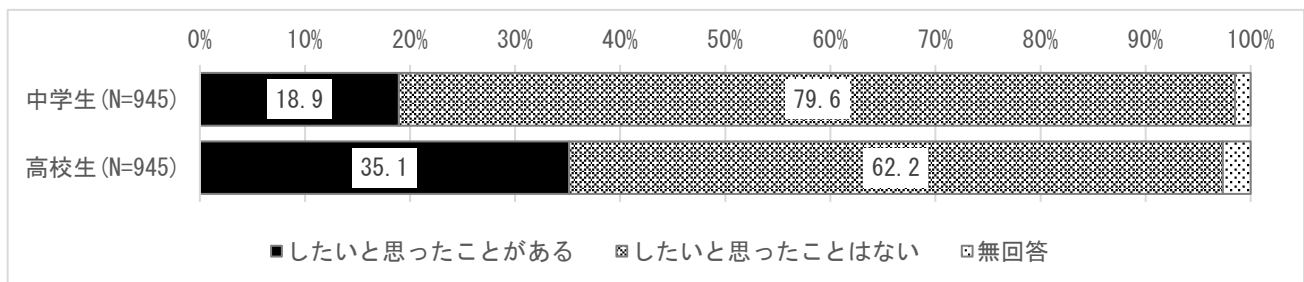
(6) アダルト雑誌を買ったり、アダルトサイトを見たりすること

(%)



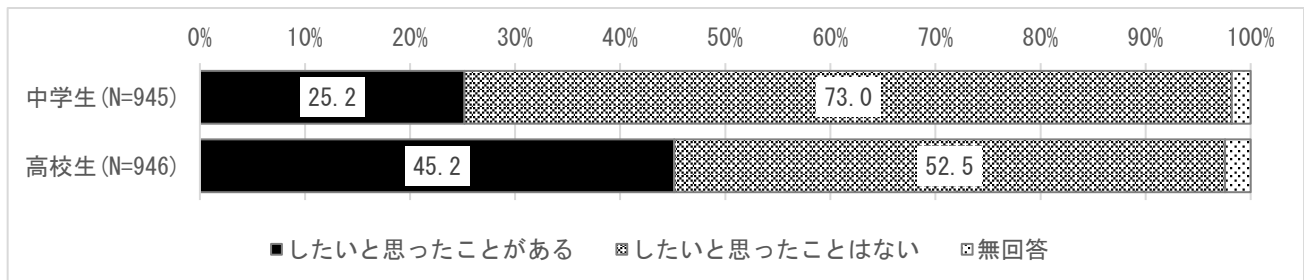
(7) ゲームセンターやカラオケで夜遅くまで遊ぶこと

(%)



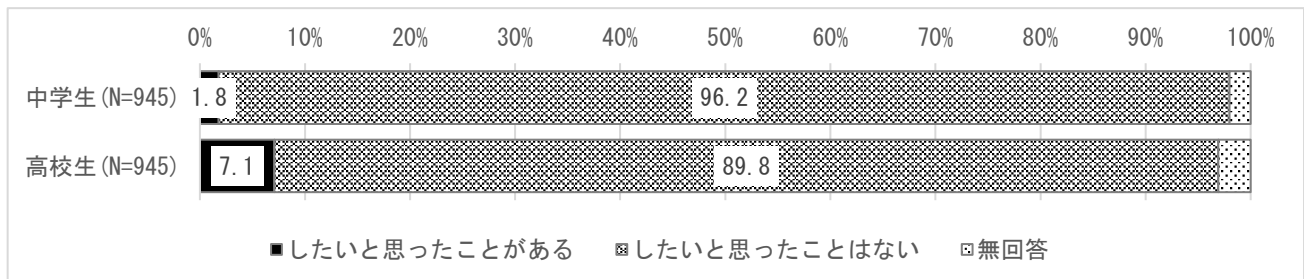
(8) 家族や家の人から離れること

(%)



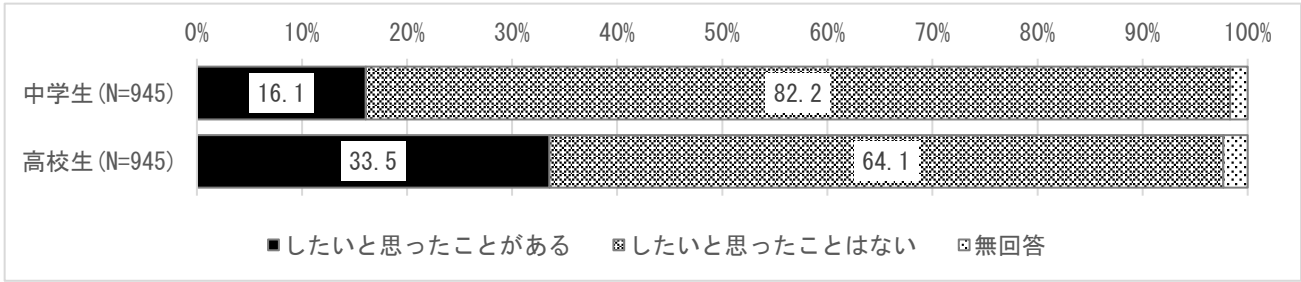
(9) タバコを吸うこと

(%)



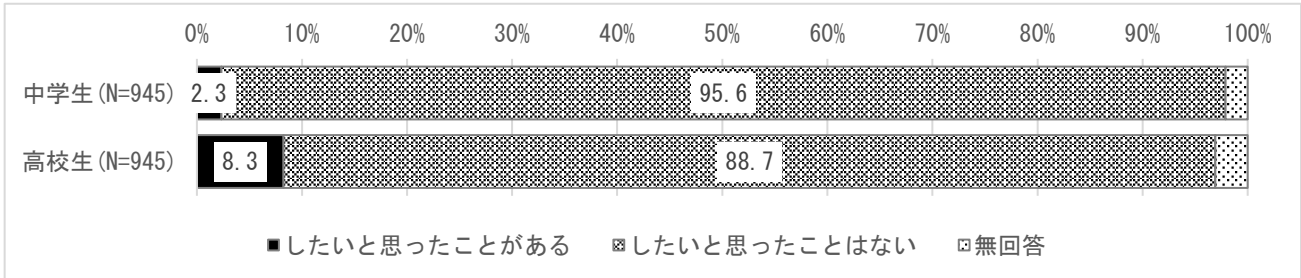
(10) お酒を飲むこと

(%)



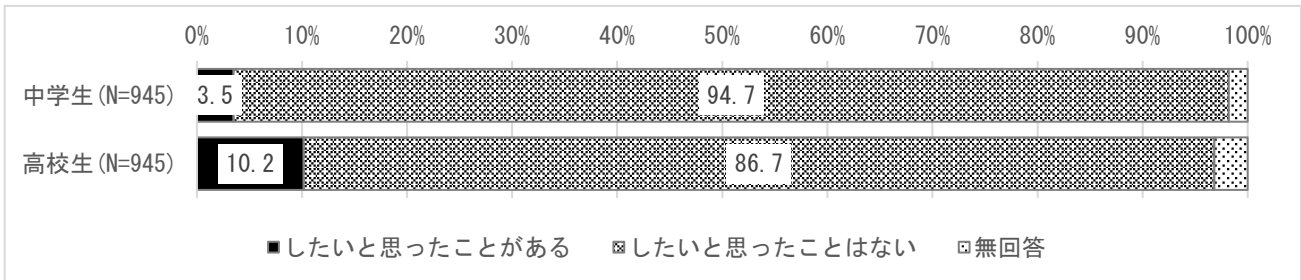
(11) タトゥー（入れ墨）を入れること

(%)



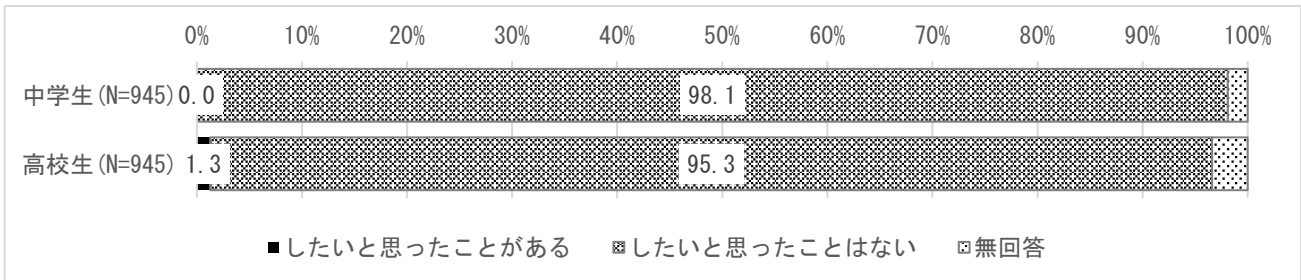
(12) インターネットで知り合った人と二人きりで会うこと

(%)



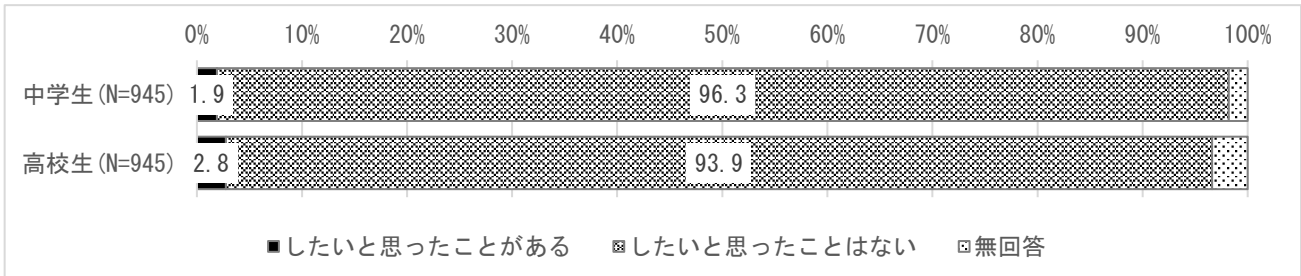
(13) 自分の下着を売ること

(%)



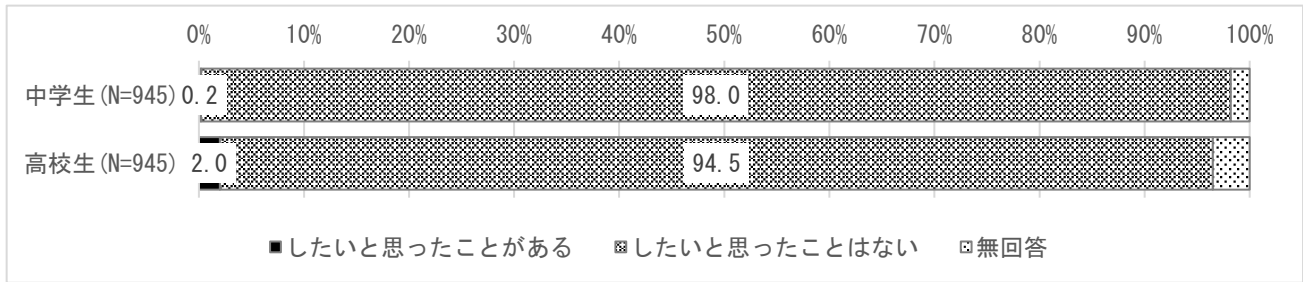
(14) ナイフや大型カッターなどの刃物を持ち歩くこと

(%)



(15) 薬物（覚せい剤や大麻，危険ドラッグなど）を使用すること

(%)



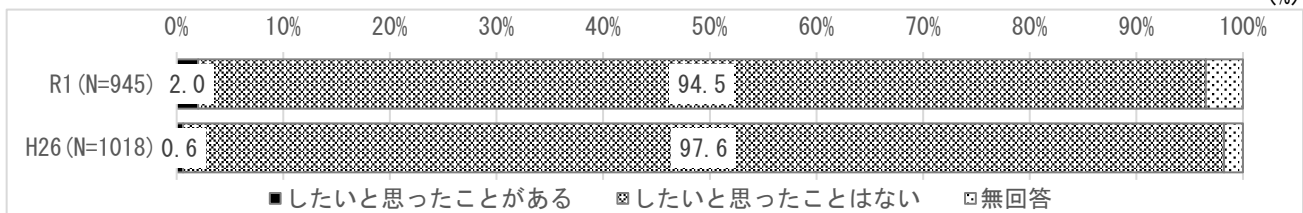
中・高校生ともに、「髪の毛を染めること」などのファッションに関すること、「夜遊び」や「飲酒」，「家族から離れること」などについての関心が高く，中学生より高校生の割合が高くなっている。

高校生では「インターネットで知り合った人と二人きりで会うこと」が10.2%，「タトゥー（入れ墨）をすること」が8.3%存在する。

参考：平成26年度調査との比較

薬物（覚せい剤や大麻，危険ドラッグなど）を使用すること [高校生]

(%)



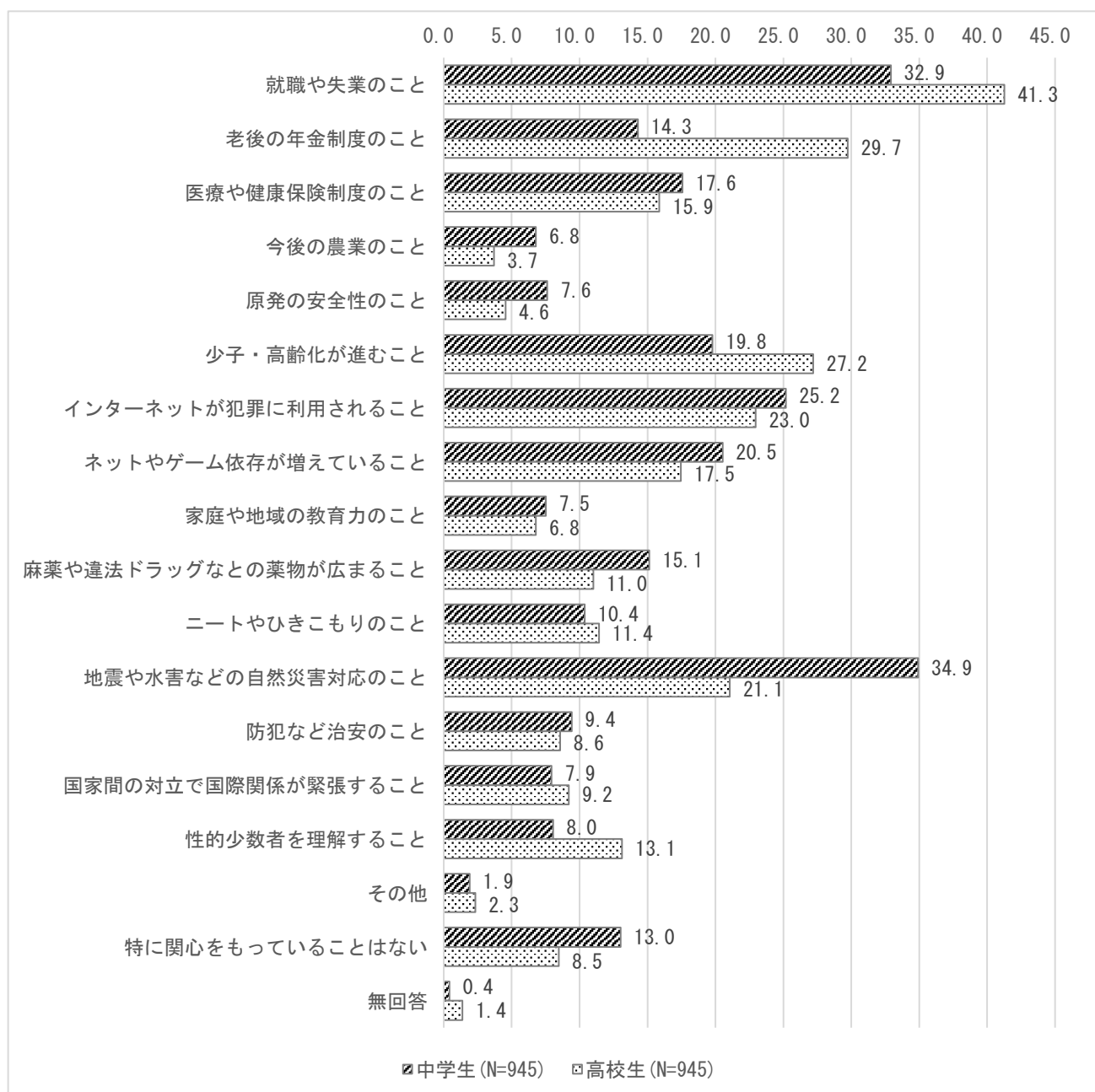
割合は低いものの，薬物に興味を持つ高校生がH26年度より3倍以上上昇している。

[中学・高校生 問19]

社会の様々な問題で、特に興味をもっていることは何ですか。(3つまで)

【社会の様々な問題で、特に興味を持っていること】[中学・高校生](3つまで)

(%)



特に興味を持っている社会問題は、中学生では「地震や水害などの自然災害対応」の割合が最も高い34.9%となっており、高校生では「就職や失業」の割合が41.3%と最も高くなっている。

中学生と高校生で比較すると、「老後の年金制度」は中学生では14.3%だが、高校生では29.7%と高くなっている。

その他の記述では、中学生では「地球温暖化のこと」(2人)、高校生では「高齢者の運転や高齢者との世代間ギャップについて」(6人)といった関心ごとが挙げられた。

